音のコンビネーションプレー

2ウェイ・4スピーカー（12cmウーハー×2＋5cmツイーター×2）からあふれ出す、出力3.8W（EIAJ/DC）のステレオサウンドは、高音と中・低音のコンビネーションサウンド。



音が広がるステレオサウンド

ステレオ パディスコ5280 ¥44,800

TRK-5280

いい音はステレオで鳴らしたい

ステレオサウンドを支えるメカニズム

- より音の広がりを感じるステレオ（マトリックス）方式
- クリアな音を再生するITL・OTL回路
- FM放送が冴えるFMマルチ回路内蔵
- ラウドネス回路で音のバランスを自動補正
- FMワイドバンド（76～108MHz）帯採用
- （クロム/ノーマル）テープセレクター採用
- 専用外部スピーカー（別売りAPS-80 2本セット¥11,800）接続可能
- FM/AM2バンドラジオつき
- 大きさ幅42.2×高さ23.3×奥行11.7（cm）
- 重さ4.7kg（乾電池含む）
- キャリングケース（別売りL-5280¥4,000）

★「日立カセットレコーダーの保証書」は、必ずお受けとりください。お買い上げの際に販売店名、ご購入の年月日が記入されているかをお確かめになり、大切に保存してください。

★カタログ請求は、〒105東京都港区西新橋2-35-6 第3松井ビル 日立家電販売株式会社宣伝部パディスコ係へ。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12（日立愛宕別館）TEL.(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12（日立愛宕別館）TEL.(03)503-2111

日本協会 早ければ54年度に法人化

日本協会の定期全国代議員会が3月19日東京渋谷の岸記念体育会館で開かれた。（定数52名。出席者16名、有効委任状26名＝計42名・成立）

懸案の法人化について、初めて本格的な協議が行われ、各代議員とも全面的に支持の意向を示し、早ければ、昭和54年度内に、法人化することを決めた。

（出席者）中島（長野）、渡辺（新潟）、竹田（福井）、岡村（東京）、桑名（栃木）、高橋（群馬）、久保田（静岡）、尾本（滋賀）、前田（大阪）、永井（岡山）、堀之内（宮崎）、甲斐（佐賀）、堀之口（鹿児島）、仲田（沖縄）、山田（全日本教職員連）、藤松（全日本学連）

会議は会長、副会長がいずれも出席できず荒川理事長を議長に推薦して会の進行が行われた。

形通り書記指名、議事録署名人指名、議長あいさつと進行し議事に入った。

まず報告事項より始まった。大野総務委員長から三月末を見通しての本会の財政状況が報告されたが、四〇周年記念事業の収益のため五〇〇万円位の繰り越しが考えられると報告され、毎年度末には財源枯渇し、その充当に悩んでいただけに明かるい報告であった。

続いて、第九回男子世界選手権大会の報告が幸田理事（男子強化部長、団長）よりなされた。

三月九日強化委員会を開催し、今回の成績を分析し、今後の対策を協議した結果の報告とも考えられた。その主なものは、前半が善戦しているのに後半の最後にスタミナ切れとなって惜敗している。その原因は、層の薄さから一二名がフルに使えない点であった。ヤングの養成が急務であるとの結論のようであった。また、スタミナ養成のためのトレーニング方法も考えねばならないし、何よりも日本的な戦法を生み出すことではないか、などが報告され、代議員各位からも様々な意見が出された。

続いて、荒川理事長より、日本体育協会の五三年度事業、予算について詳細に説明がなされた。

いよいよ協議事項に入った。

二月全国理事会の試案の承認という形であったので、重複をできるだけ省き以下述べる。

地区連盟設置を積極化

昨秋の会議以来、懸案となっていた「地区（ブロック）連盟」については役員構成の部分を一部手直しして提案、本会規約二五条「地区連盟を置くことができる」を「置く」に議決し、地区連盟を改めて追認するとした。

三〜五千万円の基金が必要

法人化には全員異議はなかったが、どんなメリット、デメリットがあるか、どのようにして基金を集めるかに、議論が集中した。日本ハンドボール協会のような法人化されない競技団体は主要競技団体の中では二、三を数えるしかなく、年間五〇〇〇万円の出入金を動かしている団体としては、社会的な位置づけからも必要であり、

現在、外国チームを招くにしても、遠征するにしても、ビザ申請のための証明の方法がなく、会長や、理事長個人の住所、印鑑証明で公証役場で証明をもらうのが現状である。デメリットとしては、法的規制を受け今より実にきびしい文部省下の指導の中に入ることになる。

基金調達については、財界、日本リーグ実業団などを中心にして残を各都道府県協会、各連盟、学生OBなどよりご協力をあおぎ、二年間位で遅くも三年間で目標の三〇〇〇万から五〇〇〇万円を調達したい。このため後援会組織を作り、加入者にフリー入場券を与えるなども考えている。

この提案は、早急に委員会を開いて細案を作成することになった

全日本総合も新構想へ

全日本総合については、基本的な姿勢を漸進的に改変することとし、三〇回（昭和53年度）、三一回（54年度）は、次の通り行われる

参加チーム数、男子二四、女子一六とし、参加資格は、日本リーグ男子八、女子八、教職員選手権大会男子上位三、実業団選手権大会男子上位三、女子三、（何れも日本リーグ在籍チームを除く）学生選手権大会上位男子五、女子三、自衛隊選手権大会優勝男子チーム社会人男子三、（東、中、西）女子一、開催地男子一、女子一、社会人東、中西の区分は次の通りとすることとなった。

東地区（北海道、東北、関東）
中地区（東海、北信越近畿）
西地区（中国、四国、九州）

法人化実行委員会本部を発足

日本協会は、全国代議員会の決議をうけて、法人化への募金実行委員会本部を発足させることになり、次の六理事を本部委員に決めた。（島田清史、嶋田新太郎、中沢重夫、柳沢民弥、光嶋浩、山田稔）

「ハンドボール」

53年4月号（第162号）目次

【表紙写真】
全日本実業団選手権大会
女子準決勝
（日立－立石戦から）

日本リーグ、来年から6チームで

新たに「2部リーグ」を設置

日本リーグは、来年度の第4回大会から、男女とも現行の8チーム2回総当りを、6チーム2回総当りに改め、発足時から懸案となっていた下部リーグの充実として6チームによる2部の確立を企ることになった。

3月5日東京で開かれた日本リーグ運営委員会で決議されたもので、同リーグは、発足4年目で、大きな変ぼうを遂げることになった。

リーグ関係者は、この改正によって、2部リーグの設置ができること、1部各チームの経費負担軽減、会場確保が容易になるなどのほか、上・下位差がなくなり、全試合とも内容の向上が期待できるとしている。

1、2部のチーム分けについては、男女とも、今シーズンの第3回リーグ（前期・6月10日～7月29日、後期・9月9日～11月12日＝予定）の5位までを、自動的に1部とし、残る1チームは、後期閉幕後行われる2部大会（詳細未定）の1、2位チームと、リーグ7、8位の四者によって、改めてリーグ戦を行い、その勝者とリーグ6位チームが、2試合法式の「1部チーム決定戦」を行って決めるとしている。

「2部発足」に成果かかる

○……日本リーグの今回の決定は縮少なのか、一つの発展なのか、実のところ、現時点では判断が難しい。

2部制発足という面では、大いに評価される決議だが、肝心の、その2部を組織する成算が、五分々々だからだ。

チーム関係者も、組織決定とはいえ、必しも、前進として受けとめてはいず、特に、1、2部のボーダーラインに立たされそうなチームのなかには、「2部になってまで、リーグに加盟しつづけるかどうかは判らないという」、どきりとするような発言をしているところがある。

日本リーグ加盟希望チームが、ひしめき合ったがための2部到ならともかく、現状8チームのうち少くとも2チームを強行にふるいにかけることには、日本協会内でも、疑問視するムキがある。

しかし、現行のままでは、各チームの負担は、あまりにも大きすぎ、しかも、B級カードの引き受け手が少くなりつつあることや、会場確保が難航しているなど、「それならば、早い時期に改善を」という意向も、重視しなければなるまい。

日本リーグ関係者が、このあと2部制発足という大義名分を守る努力をどう示すか。

特に、手いっぱいで10チームしかないといわれる女子のトップチームに、あと2チーム勧誘できれば、今回の決定は、一つの成果をあげたといっていい。（杉山）

前期は6月10日開幕

日本リーグは、第3回を迎える今年度のリーグ戦スケジュールを内定した。

男女とも8チーム2回総当りで昨年と同よう、前、後期に分かれ前期は6月10日から7月29日まで8週14日間、後期は9月9日から11月12日まで7週15日間、全112試合を消化する。

参加チームは、男子は湧永薬品日新製鋼（ともに広島）、大阪イーグルス（大阪）、大同特殊鋼（愛知）本田技研鈴鹿（三重）、三景、三陽商会（ともに東京）、大崎電気（埼玉）女子は立石電機（熊本）、ブラザー工業（愛知）、ジャスコ（三重）、北国銀行（石川）、大崎電気（埼玉）日立（栃木）、日本ビクター（茨城）東北ムネカタ（福島）。

前期の全日程は、5月8日正式発表されるが、内定した前期の試合日と会場地、後期の試合日は次のとおり。

（前期）6月10日（名古屋）、11日（知多）、16日（横浜）、17日（呉）、18日（徳山、新居浜、高知）、24日（大阪）、25日（大阪、京都、神戸）、7月2日（浦和、市川、小松）、8日（福島、熊本）、9日（長崎）、16日（宇都宮、金沢、四日市）、22日（水海道）、23日（岐阜）、29日（東京駒沢）

（後期）9月9、10、15、16、17 23、30日、10月1、28、29日、11月3、4、5、11、12日

全日本総合は53年1月

日本協会は、今年度の全国大会日程を次のように決めた。

世界女子選手権のため、全日本総合選手権が、53年1月に開かれるほか、第2回全国高校選抜大会は53年3月、第28回全日本学生選抜東西対抗は9月いずれも名古屋の予定。

▽第10回全日本自衛隊選手権、6 25～29日（東京駒沢）

▽第29回全日本高校選手権、8月1～6日（郡山市）

▽第21回全日本教職員選手権、8月10～13日（宮崎市）

▽第7回全国中学生大会、8月17 18日（愛知県下）

▽第5回全国高専選手権、8月21 22日（岐阜市）

▽第21回全日本学生選手権、12月5～10日（東京体育館）

▽第30回全日本総合選手権、53年1月17～21日（東京体育館）

▽第19回全日本実業団女子選手権53年1月26～28日（京都）

▽同男子選手権及びトーナメント53年2月11～15日（大阪）

▽第2回全国高校選抜大会、53年3月（名古屋＝内定）

世界女子選手権

アジア代表、苦しい組み合せに

IHF（国際ハンドボール連盟）は、今冬11月30日から12月10日までチェコで開かれる第7回世界女子選手権（Aグループ）の予選リーグ組み分けを次のように決め、発表した。

日本が有力視されているアジア大陸代表は、ゴットバルドフ市で行われるA組に入ったが、2連勝を狙う東ドイツをはじめ、東欧の強豪が揃い、苦しい戦いはまぬがれない。

なお、アジア大陸予選は、6月上旬、韓国に予定されているが、正式日程、参加国などは4月中旬に発表される模様。

◇A組　東ドイツ（前回1位、モントリオール2位）、ユーゴ（前回5位）、ルーマニア（前回4位モントリオール4位）、アジア大陸代表

◇B組　ソ連（前回2位、モントリオール1位）、チェコ（前回6位）、オランダ、アフリカ大陸代表。

◇C組　ハンガリー（前回3位、モントリオール3位）、ポーランド（前回7位）、西ドイツ、アメリカ大陸代表

「ジュニア」の強化を推進　強化委

注目の日本協会強化委員会総会は、3月11日日本協会室で行われ男子世界選手権の反省、モスクワオリンピックに向けての強化対策など、約五時間にわたり協議を行った。

男子世界選手権については、幸田末之男子強化部長（選手団々長）と竹野奉昭全日本男子監督から「東欧の強豪の実力にあと一歩のところまで迫った」ことが報告され今後の課題として「レギュラー7人につづく層の重点強化」が強調された。

これをうけて、村田弘委員が「ジュニア・ナショナルの積極強化と、国際経験を若い時代から積ませる」ことへ本格的に取り組むべきだと強調、来年度に、第2回世界ジュニア選手権(男子)が開かればエントリー、事情が許せば、今年度内にも、ジュニアナショナルチームを本場ヨーロッパへ派遣することとした。

この件に関連して、石井喜八委員（日本協会トレーニングドクター）から「世界制覇した西ドイツの例をみても、若く、大型選手を揃えることが世界上位進出への一つのカギ。

中央で目にとまる選手だけではなく〝若く、大きい〟選手なら、それだけで一つの資格として、ナショナルまたはジュニア・ナショナルに加えてはどうか」との意見が出された。

日本協会強化サイドの会合で、この日ほど「ジュニア」「後進」問題が論議されたことはなく、渡辺慶寿強化委員長が、技術部長時代から掲げていた「一九八〇年代にメダル」につながるものとして同委員長は、新たに強化委員会内にスカウト部門ともいうべき「選手発掘小委員会」（仮称）の設置を提案、了承された。

今冬に世界選手権を控える女子は、横地宇吉女子強化部長、鈴木義男全日本女子監督から、若返った女子ナショナルチームの強化は順調に進んでいることが報告されたが、ライバル韓国の成長もいちおるしく、今シーズン（世界選手権アジア大陸予選）はともかく、モスクワオリンピックのアジア大陸予選（詳細未定）は楽観を許さないといったニュアンスの発言があって関心を集めた。

なお、「昭和53年度ナショナルチーム」は、男子は当分のあいだ52年度のメンバー（GK5、FP11）のままとし、日本リーグ前期終了後、一部手なおしの予定とされ、女子は楠石かずみ（ブラザー工業、粉河高出、20才、172㎝）の新加入とGK鈴木はる子（日本ビクター、昭和学院高出、24才、170㎝）の復帰が承認された。

これで、女子はGK3、FP14となり、6月の世界選手権アジア予選代表メンバーは、早ければ4月22日の今年度第一次強化合宿（岩井市）終了後、発表される。

本田選手に関西スポーツ賞

関西のスポーツライターなどによって選考される「第21回関西スポーツ賞」が、このほど発表され特別個人表彰者に、永く男子ナショナルチームのGKとして活躍した本田洋選手（大阪イーグルス、現ナショナルチームコーチが選ばれた。

大阪で男子報告試合

▽報告試合

全日本男子　26（16－8、10－7）15　日本選抜

52年度

第18回全日本実業団選手権大会

◇ 男子・大同特殊鋼に6年連続6度目の栄冠！

◇ 女子・日本ビクター、今年度4冠に輝く!!

三月二十一日（水）より四日間に渡り、男、女19チームを迎えて愛知県体育館において行なわれた本大会も無事日程を終了し、男子では大同特殊鋼が六年連続六度目の優勝を飾り（過去においては第一回目から十回目までの十連続優勝を大崎電気が成し遂げている）、女子では混戦を予想されていたが、やはり日本ビクターが、日立栃木を延長の接戦の末降し、国体、日本リーグ、全日本総合に次いで四つ目のタイトルを手中にし今大会の初優勝を飾った。

今大会は、男女における各組み合わせで、男子三回戦での湧永―本田、女子三回戦でのビクター―ジャスコ、そして決勝戦でのビクター―日立のいづれも延長により勝敗を決するなどの（また他の組み合わせにても一、二点を争う好ゲームが展開される）、非常に各チームが気合いの入った熱戦を繰り広げ、今までにない盛り上がりを見せた大会であった。

しかしながら、ひとつ残念なことに、この活気もフロアー上だけのもので、観客席が実に寂しく、続括的に大会を振り返えるならばハンドボール競技発展の為に、これから先我々関係者がなお一層の努力をしていかねばならない事を教えられた大会でもあった。

第一日目

■男子一回戦

三景（東京）　23（14－9, 9－8）17　大同高蔵（愛知）

■同二回戦

湧永薬品（広島）　29（16－11, 13－7）18　三陽商会（東京）

本田技研鈴鹿（三重）　20（11－9, 9－9）18　日新製鋼（広島）

大崎電気（埼玉）　20（10－8, 10－11）19　三景

大同特殊鋼（愛知）　43（22－8, 21－4）12　トヨタ車体（愛知）

□女子一回戦

プラザー工業（愛知）　11（2－5, 6－3）8　北国銀行（石川）

大崎電気（埼玉）　13（6－4, 7－4）8　大和銀行（大阪）

□同二回戦

立石電機（熊本）　20（9－7, 11－3）10　東京重機（東京）

日本ビクター（茨城）　20（10－3, 10－4）7　東北ムネカタ（福島）

ジャスコ（三重）　13（4－6, 9－6）12　大崎電気

日立栃木（栃木）　17（9－4, 8－3）7　ブラザー工業

第二日目

■男子準決勝

大同特殊鋼　37（17－8, 20－6）14　大崎電気

湧永薬品　19（1－0, 1－1, 5－9, 12－8）18　本田技研鈴鹿

□女子準決勝

日立栃木　12（5－5, 7－5）10　立石電機

日本ビクター　12（2－0, 1－1, 4－3, 5－6）10　ジャスコ



【上段写真説明】
延長戦という激戦を演じた、日本ビクター対ジャスコ（前半戦）

第四日目

■男子決勝

大同特殊鋼　20（8－4, 12－10）14　湧永薬品

【大同】S 得
柳川・倉谷 GK
藤中・中井・松原・花輪・柳川・大原・中本・蒲生・蒲田・野用
得 0 0 0 1 2 7 0 4 0 6 0 0 0　計20

【湧永】S 得
今井・福井 GK（S 0 0）
津川・木野・穂積・緒方・高橋・戸田・藤本・松本・山
得 0 0 3 0 1 0 4 2 1 2　計14

FP（寄・森・川島）

湧永の先取で始まったが、大同は着実に得点し、15分で5―3とした。その後湧永は、得点機を9K柳川の好守に合い、14分無得点であったのが大きくひびき、前半は大同が8―4でリード。後半開始5分に、2点差にまで縮まったが、大同花輪のサイドからのシュートと大原、松原の速攻が決まり大勢を決めた。

□女子決勝

日本ビクター 9（4−3、3−4、0−1、2−0）8 日本栃木

日立は、3番島田のフリースローで加点していき、更に2番加藤3番穂積二人をマンツーマンする一方ビクターは攻撃に戸惑いが出なかなか点に結びつかず、22分速攻から同点となるチャンスがあるものの、キャッチミスでつぶし前半を終わる。後半に入っても日立のペースが続き、島田のロングシュートなどで加点。それにひきかえビクターは、PT2本マークをたて続けにはずし、7—4とリードされたが、サイドPTPTで20分で同点とした。その後1点を争そう息づまる攻防の末、延長となる。第一延長、前半2分30秒日立は、1点先取。後半2分30秒ビクターが追いつき、3分PTで逆にリード。日立は終了30秒前のPTをはずし、ゲームセット。

【日ビ】		S得
GK	鈴木	0
	塙	0
FP	加藤	1
	穂積	1
	小鳥	3
	斉藤	2
	染谷	1
	藤原	0
	市村	0
	伊藤	1
	岩城	0
	江橋	0
		9

（審・細井 岩永）

【日立】		得S
GK	高橋	0
	寺沢	0
FP	山井	0
	島田	5
	吉田	0
	小根	0
	荒木	1
	小根	0
	大輪	0
	水上	2
	箕輪	0
	毛塚	0
		8

敗者復活戦（三位決定トーナメント）

■男子の部一回戦

日新製鋼 22（13−5、9−6）11 大同高蔵

■同 二回戦

三景 25（14−10、11−8）18 トヨタ車体

日新製鋼 17（6−8、11−8）16 三陽商会

■同 三回戦

日新製鋼 27（13−12、14−11）23 大崎電気

本田技研 25（16−7、9−7）14 三景

■同 四回戦（三位決定戦）

本田技研 16（9−4、7−10）14 日新製鋼

【本田】		S得
GK	柴田	0
FP	田上	6
	佐藤	5
	喜井	1
	松永	0
	矢野	4
	嶋林	0
	細野	0
	西田	0
	中田	0
		16

（審・吉田 杉本）

【日新】		得S
GK	三田	0
FP	泉	2
	徳田	1
	大庭	1
	吹上	0
	関木	0
	脇若	3
	森	0
	下茂	7
	湯中	0
		14

前半15分一進一退のゲーム展開であったが、20分より本田は3番佐藤を軸にじりじりと得点し、9—4で終了。後半に入り、日新製鋼は着実に得点し、12分20秒、9番下茂のサイドシュートで逆転した。その後、一進一退のゲーム展開になり、最後まで勝負がわからない一戦であった。

□女子の部一回戦

北国銀行 13（6−3、7−6）9 東京重機

東北ムネカタ 9（7−2、2−3）5 大和銀行

□同 二回戦

ブラザー工業 11（5−5、6−4）9 北国銀行

大崎電気 11（6−1、5−3）4 東北ムネカタ

□同 三回戦

ジャスコ 16（10−6、6−4）10 北国銀行

大崎電気 9（6−5、3−3）8 立石電機

□同 四回戦（三位決定戦）

大崎前半のリードむなしく

ジャスコ 10（2−3、8−4）7 大崎電気

【大崎】		S得
GK	中島	0
	梅野	0
FP	中村	2
	江島	0
	内野	0
	大場	0
	西	3
	陽田	0
	石井	2
	徳渕	0
	佐々木	0
	小笠原	0
		7

（審・安芸 浅田）

【ジャ】		得S
GK	久保	0
	山本	0
FP	平田	0
	松下	3
	林	0
	金田	1
	河田	5
	笠	0
	若田	1
	横山	0
	辻本	0
	重村	0
		10

立上り4分過ぎ大崎は西のロングシュートが決まり、幸先良い先行をし、つづく中村の2得点で10分を経過し、3—0の好リードで試合が進んだ。一方ジャスコもシュートを再三放つが、大崎のGK中島に好守され、20分過ぎに河田の速攻が始めて決まり、そして更に24分にミドルシュートで連取し前半を3—2の大崎リードで折り返した。後半ジャスコは立上がり30秒で同点としたが、大崎も得点を重ね、終了5分前に10—7とジャスコがリードした。速攻を成功させたジャスコが勝利を得た。



（右写真説明）
ジャスコ対大崎電気（カットインから2点目のシュートを放つ大崎・中村選手）

成績

優勝
男子・大同特殊鋼（六年連続六度目）
女子・日本ビクター（初）

準優勝
男子・湧永薬品
女子・日立栃木

第三位
男子・本田技研鈴鹿
女子・ジャスコ

第四位
男子・日新製鋼
女子・大崎電気

優秀選手

		男子	女子
1	最優秀選手賞	蒲生　晴明（大同）	加藤美起子（ビクター）
2	得点王	蒲生　晴明（々）	穂積美保子（々）
3	優秀監督賞	中浜　大輔（々）	池田　鉄哉（々）
4	ベスト7		
	1）GK	柴田　正章（本田技研）	久保　徳子（ジャスコ）
	2）FP	蒲生　晴明（大同特殊）	加藤美起子（ビクター）
	3）	中井　武三（々）	穂積美保子（々）
	4）	穂積　豊（湧永薬品）	紀野奈々美（立石電機）
	5）	津川　昭（々）	松下　仁美（ジャスコ）
	6）	佐藤　要二（本田技研）	山井マチ子（日立栃木）
	7）	脇若　正二（日新製鋼）	島田さゆり（々）
5	敢闘賞		
	1）	近森　克彦（三陽商会）	鈴木はる子（ビクター）
	2）	佐々木健一（三景）	髙橋アヤメ（日立栃木）
	3）	斎藤　幸司（大崎電気）	西　典子（大崎電気）
	4）	木野　実（湧永薬品）	中川しげみ（ブラザー）
	5）	大原　真造（大同特殊）	河田　栄子（ジャスコ）

―本大会を振り返って―

まずはじめに、本大会の日程が無事終了されたこと、大会運営に当られた関係各位に対し、ご苦労の程深く感謝致します。

結果は、男子は予想通り大同特殊鋼が六連覇を成し遂げ、女子は各チームに於いて今年一月からの大幅なメンバーの入れ替わりにより、前年度優勝の立石電機は優勝戦前から大きく後退してしまったが、やはり実力No.1と定評のある日本ビクターが、日本リーグ後期以来非常にチーム力を上げて来ている日立栃木との激戦の末、優勝をものにし、52年度のビッグタイトル独占(四冠)、という輝かしい成果を上げた。

しかしながらやはり何んと言っても寂しく、残念に思った事は、ハンドボールのメッカ？とも言われている東海地区で、また春休み中という時期にもかかわらず、学生さんたちの姿がほとんど（勿論何グループかの学校のハンドボールメートの方々は観戦されておりましたが）客席に見られなかったことです。

何故私がこのような事まで申し上げるか、と言いますと、

それ程今大会は例年のものと比べて（期間中のどの試合をとっても）、ゲームの内容が充実されていたものであった、と感じたからです。

日本リーグもさることながら、この大会の様に国内のトップクラス男女二〇余りのチームによるゲームは、全日本総合のほかには決っして見ることのできないものです。（しかし、これは決っして他の大会を無視して述べているものではありません）

今やハンドボールも世界的なスポーツとして認められつつあると言われています。そして皆んなで互いに協力し合って日本のハンドボール競技というものを高めて行きたいものです。

また、大会開催の運営にたづさわる方々へ、これから先もっとPRを推進されるよう重ねてお願い致します。日程をただ単にこなす（大会運営に当りこの日程をこなすことが実際最も大変なものなのですが）ということにとらわれずに、大会自体の充実を更に図られるよう努力して頂きたいと思います。

非常に勝手な事ばかり申し述べましたが、これも一ハンドボール愛好者の希望としてお聞き願えれば幸甚に思います。

（本紙編集委員　小松原）


毎月のお積立てとボーナスで手軽につくれる100万円。
お子さまの教育資金や、お2人の結婚資金、家の増改
築や海外旅行の費用など、目的があるとためやすいです
ね。ダイワの積立定期はいろいろなコースをご用意して
います。お気軽にご相談ください。
まず100万円
100万円をひとつの目安に、スタートなさいませんか。
私
ユメを育てる
私の貯金箱
ダイワ積立定期
預金も信託も…
大和銀行

第9回世界選手権から

――紙上座談会――

第回9世界選手権に出場した全日本の男子ハンドボール選手団は一息ついた去る三月四日、その雄姿を初めて大阪の中央体育館で披露した。（帰国報告議会＝既報＝）その合間をぬって、幸田団長、竹野監督、東、本田両コーチの四氏に、〝ヨーロッパ遠征から〟をテーマにお話しをうかがった。

――ご苦労さまでした。大変長い遠征、しかも世界選手権という本番に臨んで、いかがですか？ご感想は。――

幸田　私は初めての経験だし、疲れましたね、実際。

竹野　大変いい体験をしてきたと思ってます。

東　地球は広く大きいですよ、全く。スペイン、ポルトガルの旅程など今思い出してもゾッとするわ。

本田　あのバスねえ。あの運転には参ったね。横着な運転で面食らった。

幸田　ああ、あのチビ子のサルか

全員（笑い）

幸田　フィンランドのサウナ、それにプール、よかったなあ。大使も一緒になってはしゃいでおられたし……。あれが本当のハダカの付き合いや。

竹野　まあしかし、ケガ人もなく無事本番を迎えられて何よりだったですね。

幸田、東、本田　全くそうですね

――いろんな思い出話はさておいて、本番の議会についてお話を聞かせて下さい。

幸田　結果は12位で大きな顔は出来ないが、全員よくやったと思います。〝世界の壁〟も近くなったんではないの？

竹野　まあ、ある程度、予測されたとおりですが……。思っていた通り層の薄さがはっきりと出ましたね。

本田　〝攻め〟はまあまあとして〝守り〟がだめですね。攻めも研究の余地はありますが、守りにおいては根本的な問題がありますね

――ということは、体格？

東　それもありますが、大きい上にパワーをつけることです。あちらの強豪といわれるチームの選手には〝壁〟があるんです、ディフェンスに。弱いシュートなら、壁に当たってはねかえる……。キーパーまで行かない。

竹野　要は速く、強く当たれることです。

――でもポーランド戦のディフェンスはよかったのと違う？

全員、よかったねえ。

竹野　だから、やろう!! やれる!!という気力です。キャリアともいえますが……。

――本田君、ゴールキーパーはどう？

本田　やはり体格が問題ですね。三人とも技術は相当なもんですが細いですから……。

東　ディフェンスがよければ、もう少し楽に守れるんですがね。

竹野　体ごとシューターにぶつかって行くんだからキーパーは大変だ。シューターのクセをもう少し早くつかんで、同じところへ決められないことが必要だね。

――浮かすシュートをよく決められたね、特にスウェーデン戦は。

本田　サイドからのノーマークシュートは出来るだけ前へ出たいもんだから……でも研究によっていくらか進歩の余地がありますよ。

――ボール出しは？

本田　決断と勇気ですね。国内では堂々と通っていたパスが、どこからかスーッと手が伸びてくるんですからね。でも日本は速攻に活路を見い出さないとダメですからボール出しが大切ですね。

竹野　速攻を食い止めるディフェンスがうまいですからね、彼等は

――スペインはどう思った？

幸田　スペインカップのときも思ったんだけど強いですね。国内でも相当ハンドボールに力を入れているらしいので、今後も強敵には違いない

東　あのスペイン戦は、日本の悪い面が続いて出た、という試合だったね。あれだけシュートをミスすれば……、何もかもが悪くなってくる。リズムが狂ってくるんです。

――印象に残った試合は？もちろんどの試合も、脳裏に焼きついて離れないだろうけど……。特に。

竹野　ポーランド戦。

全員、同感。

東　それに勝ったブルガリア戦。全員、うれしかった、というよりホッとしたね。

――西独――ソ連の決勝戦を観てどう思った？

幸田　いいゲームだったね。七～八位決定戦がやりたかったよ。決勝戦の前の試合なんだから……。

竹野　型の違ったチームで、その点興味があったね。あの雰囲気だからソ連は大変だったろうね。でも負けたとはいえソ連の力も相当なもんだ。

東　全く技と力の対決だったね。

本田　日本が決勝戦へ出れたらなあ。あのムードで一度やってみたいもんですよ。

――今度の遠征で感じたことは？

幸田　いろんな意味で慣れることが必要ですね。ゲームも、生活も交歓も。

竹野　まあ辛かったけど、いい経験をしたと思うよ。感じたことはいろいろあるけど、やはり試合経験が必要だ、と感じたね。今までも判かっていたことだけど……環境が違うんで……。

東　ゲームもそうだけど、ゲーム以外で国際感覚を身につけること……。

本田　まだまだ勉強々々。国内で小さく固まっていてはダメです。スケールの大きさを感じました。

――他には？

幸田　私は団長と、強化男子部長という二つの肩書きで行ったので大変でした。世界がどんなシステムで国際試合に取り組んでいるかオリンピック、世界選手権にどう対処しているかよく判りました。モスクワ五輪はもう始まっているんですから……。

本田　デンマークもハンドボールの盛んな国ですね。

東　小さな村にもいい体育館があるものね。それに子供たちまでハンドボールをよく知っているわ。500万人の人口で、サッカー、ハンドボール、バドミントンが主なスポーツだから……。

竹野　日本の選手たちも、もっと自覚してやらないといけないね。強豪といわれるチームの選手たちを見て、そう感じたね。常に自分の実力を出せるようにコントロールしている。

――それには国内でも同じことがいえそうですね。職場でも、ゲームにおいても、ナショナル選手として自覚しないとね。世界で戦う分に、まず国内で戦いが始まっているんだから……。

全員　そうですね。われわれもまず自分に厳しく……。

――それでは今後のあり方、協会に対して何か？

幸田　協会はもっと世界を知って国際力をつけるように努力しないといけないね。たとえば、〝ヤング〟というのはいいんだけど、あれは第二ナショナルという呼称に変えるべきです。そして第一、と第二が日頃の力を見て入れ替えられるシステムにしないと……。

東　そうですね。それにレフェリーも滞同したらいい。

幸田　それなんだよ。レフェリーが遅れているんだから、というより、プレーの進歩はレフェリーに負うところが大きいんだから…。

竹野　全く同感です。

本田　それとやはり底辺を広げること。

竹野　それには国内でのゲームに真剣なプレーが望まれるし、若い人たちにハンドボールをやろうという気持ちを持たせること。

幸田　ナショナルを預かる者と、運営を司る人と、そしてあらゆる指導者が一つになることです。意思の統一ですね。

東　いいゲームをやって観客を多く集めること。そうすればマスコミも放っておかない。金のいることだけど、国際試合を出来るだけ多く組むことも必要だね。

本田　遠征出来なければ、強いチームを日本へ呼ぶことです。物見遊山でなしに。

幸田　金がなくては話にならないね。

竹野　もちろんそうだけど、金だけではないですね。もっとやらないといけないことが沢山ある。たとえば、日本リーグの運営のあり方にしても、ゲームと観客とが一体になれる工夫をするとか……。

東　大きな体育館ばかりを利用しなくても、コートが40×20でなくっても、ゲームを多くして、ハンドボールの醍醐味を知らせることね、多くの人々に。

本田　たとえば高校生でオリンピックに出場するようにでもなれば随分違ってきますよね。

――もっともっと話を聞きたいのですが、紙面の部分もあって、大変残念なんですが、この辺で最後に団長さん、締めくくってください。

幸田　竹野監督以下全員よくやってくれたと思ってます。結果ははじめにお話ししたように、12位でご期待に添えませんでしたが、世界で充分戦っていけるメドがつきました。残された課題はたくさんありますが、徐々に解決して行きたいと思います。協会のすることは協会で、われわれはわれわれで、そしてそれぞれの立場で関係者が努力すれば、良い結果が出るでしょう。みなさまのご声援に心からお礼を申上げます。同時に今後とも一掃のご協力をお願いいたします。

……………………………………

大変にお疲れのところ長い間お付き合いを頂きましてありがとうございました。

全員、ありがとうございました。

（インタビュアー・日本協会編集委員　深江幸次郎）

世界十二位という結果に終わった今回の第9回世界選手権……。幸田団長をはじめ豊富な国際試合の経験を持つ竹野、東、本田三氏のスタッフの活躍が期待された大型新生全日本と共に乗り込んだ世界の舞台はやはり大きかった。蒲生の豪快なロングシュート、佐藤の小気味良いアンダーからのステップシュート、また花輪の華麗なアクロバットシュート、津川、穂積等のパワフルなミドルシュート、そして柴田等の好守と、全国ハンドボールファンの誰れもが大なる活躍を期待した。がしかしそれらの選手だけでは世界のトップクラスにはたちうちできないことが今大会の結果であった。前述の同氏により紹介されている選手の層の薄さから、がその一つと上げられる。ただ一言、この場をお借りして言わせていただけるならば中学、高校で現在活躍されている明日の全日本をめざす貴方たちが大いに奮起され、これからの日本ハンドボール界を発展の方向に導いてくれるものと信じております

（本紙・編集委員）

小山　敏昭
——共同通信社運動部—

新生全日本に期待を寄せて

ことしはオリンピックの中間年各競技とも世界選手権やワールドカップなどが行われ、世界のスポーツ界は盛況だ。

ところでハンドボールもことしは男子の世界選手権が既に終わったものの、女子は十二月にチェコスロバキアで第七回世界選手権が開かれる。

アジア代表国はまだ決定していないが、六月にソウルで行われるアジア予選のエントリーが日本のほか韓国、台湾の三カ国であることを考えると日本の代表権獲得はほぼ間違いないといえる。

ところで先月号の機関誌の中で男子世界選権を観戦された深江編集委員が『ベスト8入り』の期待を裏切った日本チームの課題として、①キャリア不足②選手層の薄さを指摘しておられた。

まさに的を得た指摘だと思う。

若手に入れ替えた全日本チームだけに経験不足、そして層の薄さは誰が見ても明白な敗因であった

今後その課題を解消するための努力が必要になって来るのだが、同じことが女子チームにも言えるのではないだろうか。かりに代表権を獲得して本大会へ臨んでも、キャリア不足と層の薄さで、男子と同様期待外れの成績に終わってしまうのではないか……、と懸念されるからだ。同じあやまちを繰り返すことはない。

ところがビックリしたのが——

三月下旬に来日する西ドイツのクラブチーム『VFR・マンハイム』の対戦相手のなかに大和銀行ジャスコなどにまざり、全日本の組み合わせが入っていたことだ。

西ドイツのチームが全国リーグの中位程度の力であることを考えれば、『なにも全日本をぶつけなくとも単独チームで勝負になるのでは』——との考えもあろう。しかしよくよく考えてみれば外国チームと試合をする機会の少ない全日本にとって、例え相手がどんなチームだろうが試合をやるということは全て経験につながる。

『キャリア不足の解消……。それは国際試合を数多くやること以外には現在においてその解決の方法はないであろう。』

そんなことを考えると、今回の対戦相手の一つに新生全日本チームによるものの組み合わせを入れた関係者の方々の英断に対し、心から拍手を送りたい。これから先きっと、その経験がアジア予選や本番の世界選手権で役立つに違いないのだから。………

そして、〝新生全日本〟に心から期待を寄せて——。

ハンドボールも今や世界のスポーツに！

最近のソ連のタス通信が伝えたところによる、ソ連ハンドボール協会のウラジミル・クリフトソフ会長の記者会見での話を紹介しよう。

同会長は国際ハンドボール協会（IHF）の副会長という要職にもあり、また次期モスクワ・オリンピックにおけるハンドボール競技でのベスト・オブ・スタッフの一員でもある。

話しは内容から察して、それほど深くは掘り下げられてはいないが、IHFのVIPが考えている世界の現情の一端でもわかるかと思って読んでいただきたい。

87万5千のプレーヤーをかかえているソ連

『現在IHFには七十カ国の連盟が参加し、中南米やアフリカなど十五カ国以上の国がIHFに加盟申請をしている。いま世界の三百万人以上の人が試合をやり、中でもソ連は世界で一番多いと言われる、八十七万五千人のハンドボーラーがおり、二番目に多い西ドイツにも約五十万人の選手がいる

そのうえ、イランでは政府の援助によってハンドボール連盟が結成され、第一回の国内選手権も開催された。イランにはいまや約三百近いチームがあり、三千人以上のプレーヤーがいる。また十年間もハンドボール選手権やカップ戦などをやっている英国では、もはやハンドボールはオフィシャルスポーツであると認識されている。

さらに経験を積んだベテランコーチたちがいろいろな国へ普及に招かれ、東ドイツのエルビン・カルデラッシュ氏はアルジェリアでコーチをし、チェコスロバキアのボイテク・マレス氏はクウェートで指導に当たっている。そしてさらにいままでハンドボールについて全く関心のなかったアフリカでも大きな大会が開かれ、アフリカ・ハンドボール連盟も設立されているほどだ。

またことし九月にレイキャビックで行われるIHF総会では、いままで世界大学選手権がユニバーシアードと別個に開催されていたのをなんとか各方面に働きかけてユニバーシアードのプログラムの中に入れるように図りたい。』—

以上が同氏の話しの内容だが、要するに「ハンドボールはいまや世界で普及している、インターナショナルなスポーツになりつつある」ということであり、それに沿うべく日本のハンドボール界も、さらに発展されることを期して……。

Create Your New World with ACCORD

'76 CAR OF THE YEAR
モーターファン誌主催
年間最優秀自動車賞受賞
ホンダ・アコードEX-S

ACCORDとは「調和」「一致」です。
機能重視、人間尊重、そして環境保持。
こうしたテーマを高い次元で調和させました。
多用途・多目的に余裕をもって活用できる機能と
乗る人の心情に深くマッチした
快適さの実現です。
大人の感覚で磨きあげた車。
あなた自身の新しい世界を創造する車。
それがホンダ・アコードです。

ゆとりと調和のアダルト・カー

ACCORD®
CVCC


TYPE=EX

製式B-SJ・全長4.125m(EX・LX・GL)・全幅1.620m・全高1.340m・軸距2.380m・輪距 前1.400m後1.390m・CVCC水冷4サイクル直列4気筒OHC・総排気量1,599cc・最高出力80ps/5,300rpm・最大トルク12.3kg-m/3,000rpm・燃費21km/ℓ(5速ミッション車60km/h定地走行テスト値)・10モード燃費10.5km/ℓ(運輸省審査値)・四輪ストラット方式独立懸架●51年排出ガス規制適合車。

HONDA®
●シートベルトを締めましょう



本田技研工業㈱鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎<0593>78-1212 〒513

関東学生選抜チーム欧州遠征報告

二月二十七日より三月十二日帰国までのおよそ二週間、西ドイツを中心とする欧州遠征研修の中で福地団長をはじめ、各選手が個々に単独各チームとの対戦を通して学んできたものを、ここに掲載するとともに、今回は初の一地域学生選抜による遠征であったことなどからも、これから先の各地域ブロックでの学連にも大きな影響を与えたものであった。



マールブルグ市主催の試合前のレセプションにおいて、市体育局長より福地団長が記念の絵皿を受ける。

欧州遠征 研修から—

選手団々長
関東学生連盟理事長
福地　賢　介

研修を目的とした今回の遠征を進めるにあたって、個人的にはヨーロッパへの経験はあるが、ハンドボールでの関係、ましてや、選手団の団長といった形のものは全くもって初めての経験で、如何にしてよいのか戸惑、心配であった

協会関係の方より多人数遠征は初めてであり、充分の配慮をとの忠告を戴き、不測のトラブル発生その他何事にも対処でき得るべく

公的には外務省、民間では、三越、日本航空その他現地に事業所のある企業に協力をとりつけ出向いたが、正直、帰国迄は不安の連続であった。

フランクフルトのスポーツシューレーを起点に、エルゼンフェルト、マールブルグ、その他バスで一～二時間程の市町を転戦したが

西独側の配慮で、一部リーグ二位のグロスバルスタットから、マールブル選抜など、バラエティに富んだ対戦相手で、試合を通じて色々のものが吸収できた。

特に、先の世界選手権で優勝したメンバー（GKホクマン他）を擁する、第一戦のグロスバルスタット戦の後、「今迄のハンドボールに対する考え方を改めさせられた」という学生の言を聞いた時、それのみでも大きな収穫ではないかとさえ思った。

技術的には、試合からだけでなく、藤原侑監督、手島光、高野亮両コーチと男女選手が、グロスバルスタットのトレーナー、ツオール氏より実技指導も受け、新しい技術、頷けるもの、色々吸収できたが、「短時間の練習を効果的に」という、質と量の意図が充分に窺知された。

スポーツ界でのハンドボールの位置づけ、運営から生ずる観客と選手の結び付き、その他考えさせられた事が多々あった。

ハイデルベルグ大学の体育施設だけでなく、各体育館に関した設備を見学した時、根性論のみでない科学に裏付けされたものも見た

過去に近森、一宮両氏が、また現在北川氏が西独でハンドボールを学んでいるが、現役の伸び盛りである一～三年生の留学についても、西独の英才教育を聞いた時に実現させたいと思った。

西独ハンドボール関係者に、遠征についても尋ねてみたが、我々の研修遠征についての暖かいアドバイスを受けた。

グロスバルスタットクラブのみでなく、一流クラブチームの遠征（対日本のみでなく各国も含む）についても尋ねてみたが、我々同様個人負担という費用絡みの問題もあり、アフリカ、中近東など低開発国への遠征は、国際親善と文化向上の一端を担うとして、当局より補助金が出るので、どうしてもそれに足を向けてしまう事、また、日本に対して関心がない訳ではないが、遠過ぎる事と、経費問題でつい二の足を踏むとの事であった。

その他色々の事で、私なりの感触があった。

ハンドボールの国際事情に疎い私にとって、いずれの面でも今回の遠征は良い勉強になり、学生にも毎年経験させたいと思うし、私自身も機会があれば行きたいと思っている。

今回の遠征の成果を考えた時、欲をいえば、もう少し経済的に何んとかならないのかと反省している。

経済的な背景のない学連にとって、個人負担を余儀なくされる点を、企業サイドの支援のとりつけ、現地の公的機関の利用、その他でできるだけ負担を軽減させたいと思った。

因みに今回の遠征経費は目下清算中であるものの、最終的には三五万円内外（一四日間）の総経費になる見込みである。

最後に、今回の遠征に際し、荒川理事長を初めとする協会の方々技術指導に時間を割いてくれた竹野ナショナル監督、海外情報を提供戴いたNHK杉山氏、その他学連関係者、各企業の皆様に、色々と御協力戴いておりますので、紙面をお借り致し厚くお礼申し上げます。

男子選抜チーム　主将
早稲田大学　北里　まこと

遠い地、ヨーロッパでの試合・研修ということで、大きな期待と多少の不安もいりまじった気持ちで出発した。

まずは、機内にいる時間が非常に長く、まいってしまった。さすがに、日本からずいぶんはなれたという実感があった。

時差のことにずいぶん心配したが、考えていたほど体には影響がなかったように思う。

西ドイツは整然としていて、おちついた感じをうけた。

サッカー・ハンドボール等は地区単位でクラブチームを持っており、スポーツをやって楽しむ人が多く、またそれを観て楽しむ人がそれ以上に多い。日本とは比較にならないほど国民のスポーツ意識

が高く、とてもうらやましく思った。我々のような学生チームが遠征しても、試合は体育館がいっぱいになるほど観客が集まった。そして、その観客の目がたいへんこえており、よいプレーなどは目ざとく見つけて拍手を送ってくれるプレーヤーとしてはたいへん嬉しいことであった。日本の我々のプレーは西ドイツのそれと違うということで珍らしかったのではないか、とも思う。

西ドイツチームと試合をして感じたのは、まず体の差であった。これは当然わかりきったことではあったが、対戦してみて実感となった。クラブリーグで上位の強いチームは体が大きい割には身のこなしが良く、シュート力もあり、またボールコントロールも良く、さすがだと思った。しかし自分が思うには、技術的にはさほど変らず、日本と大差ないのではないか我々と同じようなことをしても体を有効に使ってくるため、それが差となって表れてくるのだと思う

この様な形式の遠征は今回が初めてであったが、ハンドボールを通じてプレーだけでなく、いろいろな経験ができたことを嬉しく思っている。自分はこれで学生ハンドボール界から引退する身だが、遠征に参加したメンバーがこの経験を生かし、活躍することを期待する。

パワーハンドボールとは？

日本大学　大畑　孝広

私はこのヨーロッパ遠征に行って自分に力がついたなあと思う事は、パワーにも負けないハンドボールがやや出来たという事だ。確かに西ドイツのハンドボールは、テクニックアンドパワーといわれているだけにものすごい迫力があったが、そのテクニックというものは日本では、ひと昔前に使ったブロックプレーに似ている。であるからして、テクニックの面ではそう選抜チームもひけはとらなかった。しかしパワーの面だけをみてみると、やはりという所があったような気がした。このパワーとはどんなものかといえば、人間の体格からしてみれば一目瞭然だが西ドイツの一人のプレーヤーが選抜チームの二人のプレーヤーをひきずりながらポストシュートをうつといったありさまである。こんなパワーにはほんとうに私も試合をしていて愕然としてしまった。しかしここでただ指をしゃぶっている事はないと思い、パワーに勝てるプレーをしてみようと思ったそしてそれにはパワーに勝つためには、パワーでせまる事が一番よいのではないかと直感的にひらめき思いきって前に詰める事に心掛けた。このひらめきも60％くらいは成功して自分自身満足であったまだ40％くらいは、おのずから生ずる体格の差という事があって達成できなかったが、パワーに少しでもなれただけ、とてもいい勉強になったのではないかと思う。

最後にもう少しお金の面で安くいければよいのにと痛感した。これからもドシドシ遠征に行ってもらいたい。



（三月一日女子初戦　対TSVラットパイス・アウエルバッハ）

日本体育大学　稲葉　安子

今回の遠征は、はじめて関東で男女の選抜チームを組んでの海外遠征でした。私にとっても実際外国に行って、向こうのチームと試合をするなんて生まれてはじめての事だし、なんせ国内のリーグ戦やもろもろの大会にも出たことないのに、私がやっていけるのか、とても不安でした。日本での練習の時にも、皆のシュートはどんどんゴールに入ってしまうし、こんな自分が選ばれて行っていいのだろうか、と何度も思いました。しかし、行く以上は何かを得て来たい！

はじめて自分の目で、本場西ドイツのチームのプレーが見る事ができて、自分の体で体験することができるのです。吸収できるだけ吸収して、自分のものにして来たいと思いました。

私が試合をした中でどれもみな良かったと思いますが、一番心に残っているのは、第2試合でのサイドの5番の地すべりシュートです。後半キーパーチェンジで私が入る事になりました。

ハーフタイムの時、先生から注意された事を頭に入れてやったつもりなのに、シュートはゴールに入ってしまうのです。守っていてもこれなら絶対取れると思ってやっていたのに結果はゴールインになっているのです。本当に、このシュートには悩まされました。そしてまた、同時に一番取れなくてくやしかったシュートでした。

第3試合も、割とよく出してくれた試合だったので、心に残っているのですが、このチームは日本の攻撃の仕方と割と似ていたチームでした。ちがうところは、ドイツのチームはどこでもそうですがパス回わしが日本と全々ちがうと思うのです。日本の場合、だいたいが肩から投げるショルダーパスですが、西ドイツの場合、手が大きくてボールをつかんで自由に技げられるので、腰あたりに来たボールもその位置から、横にパスをしたり、バックパスなどを功みに使い分けているのです。このチームとやっている時、そんなパスにだいぶ位置とりに迷わされましたなぜなら、ディフェンスの影でそういうパスが見えなくなる時があるからです。日本人も、もっとパス回わしがうまくなったらいいのにと、思いました。

こんな試合のあい間に、一日だけ私たちは、西ドイツのグロスバルスタットというチームのコーチの方から指導を受ける事ができました。

この方は、本当に言葉のわからない私たちに、手とり足とりという感じで教えて下さいました。私は、こんな所にも今回の遠征に大きな意義があった様に思います。また、この他にも試合の後のレセプションや、ハイデルベルグ大学の見学など、ためになる物ばかりでした。今回の遠征で学んで来たことを生かして、これからも頑張っていきたいと思います。



スポーツ安全協会傷害保険

財団法人スポーツ安全協会・幹事会社＝東京海上火災保険株式会社

1978

スポーツ団体だけでなく
子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も
10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料は（お一人につき）——

〈第１種〉 スポーツ少年団，こども会，婦人団体，地域スポーツクラブ，こてきバンドなど **（年額300円）**

〈第２種〉 スポーツ競技を目的とした団体など

- **A**：山岳会，スキンダイビングなど **（年額4,800円）**
- **B**：スキー，ラグビー，サッカーなど **（年額2,800円）**
- **C**：卓球，テニス，水泳，軟式野球，バレー，陸上，ハンドボール，剣道など **（年額1,200円）**

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第１種で加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●保険金額は——

死亡・後遺障害：3,000,000円
（後遺障害の場合は３％から100％まで）
非入院中：日額1,000円（支払限度90日間）
入院中：日額1,500円（支払限度180日間）
（非入院中，入院中を合わせても180日限度）
注） 特にご希望の場合は保険料，保険金額が上記の半額になるＳ型の加入も可能です。

●適用の範囲は（担保条件）——

○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。
○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。

●保険期間——

毎年４月１日より翌年３月31日まで。ただし，中途加入でも翌年３月31日までです。
（申込は３月１日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは…………
スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります）。東京海上火災の営業店にご照会ください。

（財）スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
電話　467－3111（代）　直通460－6263



今回の遠征でモテモテの女子選手の中でも、一番モテた!!女子選抜チーム主将の坂村選手

日本体育大学　松井幸嗣

2月27日、東京国際空港を飛び立った私たちは一路西ドイツ、フランクフルトに向け出発した。遠征といっても公式試合ではなく、親善、友交、研修が目的であったが、試合は連日観客が満員になった。

試合では身長、腕力、ディフェンス力に勝る相手チームはさすがだと思った。初日に対戦したTVグロスバルスタッド戦ではナショナルプレーヤー3人、（GK1人FP2人）相手としては十分であったが、旅の疲労、時差ぼけなどハンデがあり、選手は力を発揮できなかったようだ。

しかし今度の遠征を終えて収穫したものは大きかった。出発出にレポートした「遠征での目標」などはすべて達成できたと思う。GKの体格が大きければ、どのコースにシードを打てばよいか。速攻はある程度通用するが、後のフォローを徹底すればもっと得点できたであろう。だがディフェンスがもう一つ足りなかった。どのチームも同じだったが、パスまわしのスピード、うまさに引きつけられいつのまにかポストシューターがフリーになってしまう。また、オフェンスのしつっこさを止められなかったのも、敗けの一つではなかっただろうか。

このような結果をまとめて、今後の自分、チームの為にリーグ戦インカレを頑張りたいと思う。

早稲田大学　富沢智

自分は、高校の時から大学一年の途中までFPをやってきた為、GKとしての経験が不足しているにもかかわらず、今回のヨーロッパ遠征のメンバーに選ばれ、国際的経験をさせていただけたことは感謝に耐えません。

西ドイツは、パスワークのチームと聞いていたが、パスワークそのものは、日本チームの方が上であったと思う。しかし、体力、そしてその体力を生かした突進力の差は、いかんともし難く、日本チームのディフェンスは苦しめられた。走り込んだ時のシュートのスピードは、日本人より数段速く、GKとしての位置どり、かまえが遅れるとシュートに対して反応する間もなくゴールインしてしまうサイドシュートも日本とは少し異なり、右利きの者の右サイド、左利きの者の左サイド（GKから見て）シュートは、ポストよりに立ってかまえるより、ポスト側を開けてポスト側を取るように心がける方が、良策であるように思う。

また西ドイツのディフェンスは、ほとんど0：6がで、あの大型の0：6ディフェンスをいかにして攻略するかが、今後の課題であると思う。

また西ドイツの人々のハンドボールに対する関心は非常に深く、観客数も日本の比ではない。それも、西ドイツにおいてハンドボールが盛んである一因であると思う。

最後に、西ドイツにおいて学んだ多くのことを、微力ながらハンドボール界の為に後立てたいと思う。

GKの立場から感じたこと――

日本体育大学　井藤英忠

1試合目での対グロスパウスタットは、とても実力のあるチームで負けたが、しかたがないという気もするので、ゲームが終ったあと体力、体格の差というものを、身にしみて感じた。このゲームに出られなかったのが残念です。2試合目からは1試合目の経験を生かし、負けたゲームもあったが、いいゲームができたと思う。

僕がゴールに入って感じたことは、打点が高く、あごが上がってしまうとシュートは取れないと思った。中には完全にコースを読んでゴールインされたのもあった。向こうの選手は背と打点の高さを利用して打ってくるのでディフェンスの手の上からよく打たれて、ゴールインされた。試合前にもっとしっかりとディフェンスと話合っておくべきだったと思う。

ステップシュートは手首が強くブラインドからスピードシュートを打ってくる。手首が強いのでぜったいこっちと思い切って動けなかった。

ポストシュートは前へ思い切って出ると足や体にぶっつけた。タイミングさえ合わせて前へ出ればポストシュートは取れないことはないと思う。

各試合が終ってレセプションが行われ、西独選手と親しくなれたのは実にうれしかった。

この遠征は、外国のチームと6試合も行なったし、いろいろな面でいい経験になった。これから、こういう遠征でゲームがあり、出場できたら、思いきって、悔いの残らないゲームをしたいと思う。

早稲田大学　吉見昌憲

まず最初に学んだことは、まったく予想もできない西ドイツのチームに日本人のプレー、自分のプレーが通じるかどうか不安であったが、スピードやコンビプレーなどで西ドイツのパワープレーに充分対抗できるということである。

西ドイツのチームで攻撃面における目立つプレーは、やはり体格を利用してのプレーが多いこと。たてブロック（197センチもあるフローターがシュートを打ちにくると一人では守りきれないのでもう一人がホロに行く、そしてその結果ポストがノーマークになる）。ローリングからの強引なカットインシュート、手首だけのスタンディングシュートなどでプレーは見えるが、止められないというパターンが多かった。ディフェンス面では、サイドプレーヤーに対するマンツーマンが多く、また対戦したチームはすべて0：6のゾーンディフェンスであった。欠点をあげれば、西ドイツのチームにはほとんど速攻がないためか速

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

攻に対する帰りが遅いということ、回り込んだシューターに対するつめが甘いということ、そして45の外側を攻められると弱いということがあげられると思う。

また試合以外で驚いたことは、観客の多さである。これはチームの形成状態の違い（西ドイツのチームのほとんどは選手の住んでいる村のクラブチームで、各村々にチーム専用の体育館をもっている）にもあると思うが観客層も子供から老人まですべての年代層に及び家族連れなども目立ち、日本では見られないような熱狂ぶりで西ドイツにおけるハンドボールに対する関心の深さ、歴史の古さを知らされた。このような数々の実際に西ドイツへ行き、対戦した者にしかわからない貴重な体験はこれからの自分のハンドボールに大きくプラスすることと思う。

日本大学
新井田　司

ヨーロッパ遠征を終えて、なんといっても第一戦の試合が今でも頭に残っている。西ドイツのナショナル・プレーヤーが3名おり、他のプレーヤーもそれに劣らずの選手に私は感じた。また、これが世界のハンドボールなのかと痛感した。対戦して、体力・体格の差はもちろんのこと、パス・ワークフェイント・プレーなどの巧みさをもっているのである。日本選手も巧みさでは優っていても、ゲームの中での体力の違いが、徐々に表われ動きが鈍くなり、日本選手の巧みなプレーもスピードを欠き、つぶされたり、スタミナ切れなどから、あっさり相手に点数を取られてしまうケースが後半は殆んどであった。この体力の違いも同時に、体力の回復のために相手チームは、メンバー・チェンジをひんぱんに行なっていたこと。この辺のうまさは日本では殆んど見られないことだろうと思う。このように最初から最後まで同じように攻撃、防御されたのでは、日本選手が振り切られてしまうのは当然のように思われる。日本チームのように小さい選手は、メンバーチェンジを多く使ってスタミナを保たなければ、一試合を通じて対等に戦うことはできないであろうと思う。

全試合を通して西ドイツの各チームは、高さも力のハンドボールであったと思う。各チーム攻撃での違いはあまり見られなかったが防御の違いがやはり強いチームには見られたと思う。日本チームも攻撃では対等に戦っていたと思うが、防御の弱さが苦しい試合展開にしていたと考えられる。西ドイツ選手の体を生かした強引なプレーがペナルティー、スローを生み相手のスタミナ切れをさそっているのである。このようなプレーはまだ日本では見られないが、これからの日本にもこのような強引なプレーが必要となってくるだろう。また、日本の特色を生かしたプレーも忘れてはいけないと考え、このような各プレーを有効につかい世界に対処して行く事が、これからの課題となろう。

【下段写真】すばらしい設備を誇るハイデルベルグ大学体育館全景

▼男子第一戦

TV・グロスバルスタット　31（17－7、14－8）15　関東学生選抜

▼同二戦

関東学生選抜　20（11－9、9－9）18　SV・クルムスタット

▼同三戦

TSF・ヒュッェルハイム　21（12－11、9－8）19　関東学生選抜

▼同四戦

関東学生選抜　24（16－14、8－9）23　マーブルグ選抜

▼同五戦

J・ゲンズーゲン　26（13－8、13－11）19　関東学生選抜

▼同六戦

関東学生選抜　22（12－8、10－8）16　パーグストラックセ選抜

□女子第一戦

アウエルバッハ　19（11－5、8－8）13　関東学生戦抜

□同二戦

関東学生選抜　13（7－8、6－4）12　TSF・ヒュッテルハイム

□同三戦

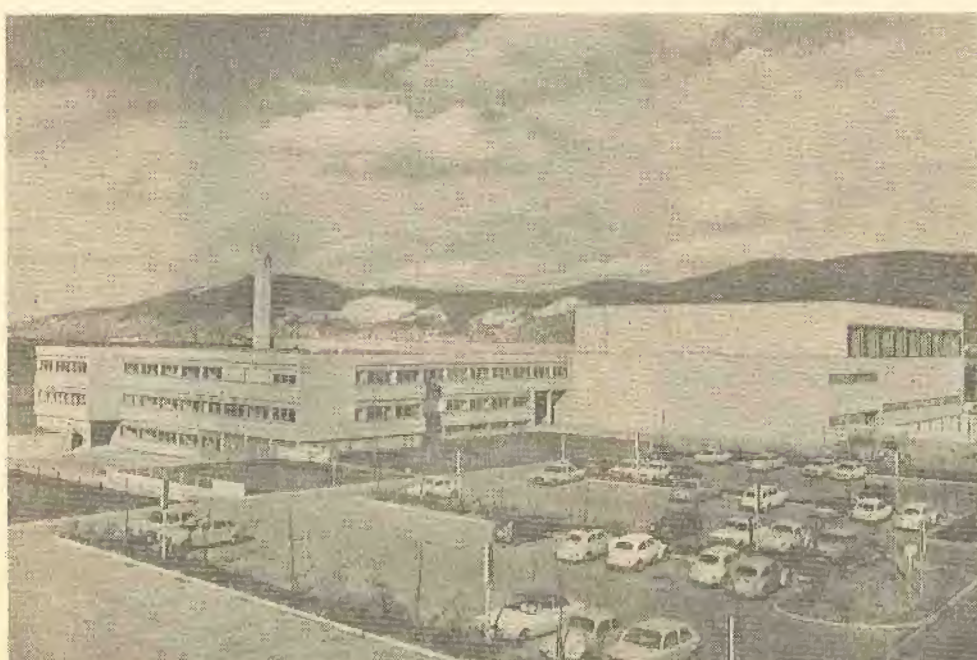
関東学生選抜　13（7－6、6－5）11　マーブルグ選抜

□同四戦

関東学生選抜　15（6－4、9－11）15　キルクホフ

□同五戦

アウエルバッハ　15（5－8、10－5）13　関東学生選抜



技術コーナー

——日本ハンドボール協会　技術委員　浅野鉦世——

第三回　ディフェンスラインをくづすの巻

○質問「攻撃においてディフェンスラインをくづすということがよく言われますが、それにはどのような動きが必要とされるのでしょうか。」

◎解答　攻撃においては一人のプレーヤーが二人以上の防禦プレーヤーを動かさせ、最終的には二対一の状態を作り上げていくことが必要となります。しかしながら一人の攻撃プレーヤーが二人の防禦プレーヤーを動かさせても、プレーが断片的であったり、次の攻撃プレーヤーのフォローが遅れたりしては、プレーに継続性が生まれず、ディフェンスラインをくづすといわれるまでにはなかなかうまくいかないものです。ここでは以上に述べたことが一体どのようなことであるかを実際の試合における連続写真を参考にして考えて見ることにします。

まずプレーの状態を順を追って説明しますと、

①左サイドから攻撃者№5のパスを受けるために、№6の選手が鋭く切り込んできている。

②次の写真においては、ディフェンス側の右サイドプレーヤーは攻撃№6の動きに気付き、ディフェンス右45度のプレーヤーとスウィッチプレーをし、マーク者を交換しました。

しかしながら、攻撃№6の鋭いカットインのため、ディフェンス右45度のマークチェックが遅れぎみになっています。

③攻撃№6が、攻撃№5よりのパスボールをキャッチ。この場面でディフェンス№4は攻撃№5をマークしています。

④この状態でディフェンスのマークがいま少し遅れたならば、次の写真⑤で攻撃№6は一瞬のディフェンスのすきで十分に、シュートを打てる体勢にあります。

⑤しかしながら写真④でディフェンスは攻撃№6をホールディングしたため、シュートは打てませんしかし鋭いカットインのためディフェンス№4も攻撃№6の防禦、と同時に攻撃№5へのパスに対応できるポジションを取る必要にせまられています。

写真①



写真②



写真③



写真④



⑤攻撃No.6はホールディングされながらも味方にパスの出来るボディーコントロールを保ちつつ、ディフェンスNo.4に対し、自分への防禦を余儀無くさせています。

写真⑤



⑦攻撃No.6はホールディングされ自分を殺しながらも、そのために生かすことのできた攻撃No.5にパスしたことで、プレーはなおも継続しています。

写真⑥



写真⑦



写真⑥、⑨、⑩において、攻撃No.6はディフェンスNo.4の前方への動きを完全に封じ、攻撃No.5の行動範囲をより一層大きくとれるように、充分なアシストをしています。

　この連続写真から特に注目するに価するプレーヤーは攻撃No.6の選手です。その特筆される点として次のようなことが上げられます

写真⑧



写真⑨



写真⑩



A、ディフェンスサイドプレーヤーの虚をついて素早く切り込んだこと。

B、ボールをキャッチした時いつでもシュートがうてる状態の鋭い縦の切り込みが感じられる。

C、その動作によって完全にディフェンスを二人引きつけていること。

D、ホールディングされているにもかかわらず、確実なボディコントロールでNo.5へ正確にパスをしたこと。

E、パスをした後もなおポストへするどく切り込んでいること。

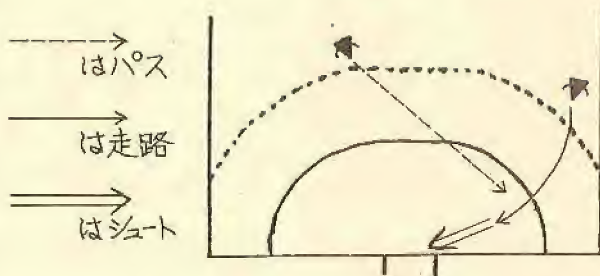
F、それによってNo.5をマークしていたディフェンスNo.4の前方への動きが一瞬ではあるが完全に止められたこと。

このようなプレーは一見地味ではあるがディフェンスラインをくずすのには欠くことの出来ないプレーであります。この結果、⑩以降のプレーでは写真から判断する限り、次のプレー展開が可能性をおびてくることが予測できます。

イ、No.5のステップシュートまたはジャンプシュート。

ロ、イからの変型で左サイドへのパスからサイドシュートスカイプレー（図1参照）

図Ⅰ

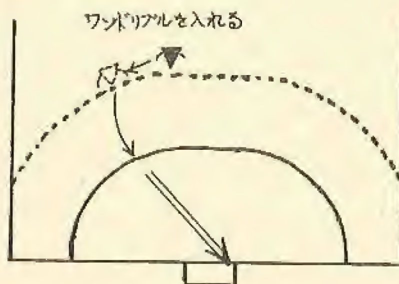


ハ、シュートフェイントから右45度でのジャンプシュート（図Ⅱ参照）

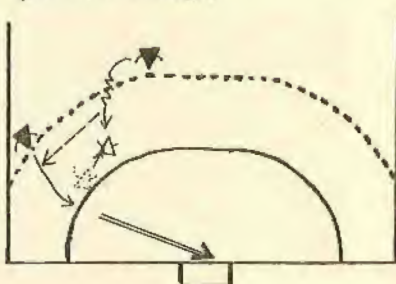
ニ、ハの状態から右サイドのディフェンスを引きつけて二対一のキイド攻撃（図Ⅲ参照）

このようにNo.6のような生きた一つのプレーから、バリエーションに豊かなプレーが幾つも生み出される可能性が秘められているのです。ですから、皆さんも個々に基本的なプレーの練習である二対二、三対三、または応用練習である四対三、五対四の中で、鋭い切り込みとディフェンスの防禦状態を一瞬のうちに判断し、シュートチャンスであれば迷わずゴールをねらい、あるいは素早く正確に味方にパスして次のチャンスに結びつけるという技術を繰返し練習しそれをチームプレーに導いていけば、かならず効果があがると思います。

図Ⅱ



図Ⅲ



⑥図Ⅱからの応用

いずれにせよこれらのプレーのもととなるものは、ハンドボールを志向する皆さんの基礎体力の如何んにかかってきますので、常日頃から十分なトレーニングをつまれることを、委員会スタッフ一同望んでやみません。

それでは次回にてまた皆様とこの誌上でお目にかかりましょう。

○……このコーナーに対する皆様方の御意見・御要望をお待ちしております。

編集委員会宛にお気軽に御遠慮なくお寄せ下さい。

（技術委員・編集委員一同）

日独国際親善試合

若手の全日本女子てこずる

日本―西ドイツ国際親善ハンドボール大会は、男子VfL・ヘッペンハイム（西ドイツ二部リーグ）、女子VfR・マンハイム（西ドイツ一部リーグ）の両名門クラブを招いて行われ、男女とも日本チームが優勢を示し、来日チームは男子が1勝2敗、女子が4敗に終った。

▽男子第1戦（3月26日・四日市市体育館）
本田技研（三重）25（15―6、10―5）11 VfL・ヘッペンハイム

▽同第2戦（28日・愛知県体育館）
大同特殊鋼（愛知）29（17―6、12―5）11 VfL・ヘッペンハイム

▽同第3戦（30日・浜松市営体育館）
VfL・ヘッペンハイム 25（12―9、13―8）17 全浜松（静岡）

大和銀行ら単独も完勝

▽女子第1戦（3月25日・大阪東淀川体育館）
大和銀行（大阪）16（10―3、6―11）14 VfL・マンハイム

▽同第2戦（26日・四日市市）
ジャスコ（三重）22（16―5、6―4）9 VfL・マンハイム

▽同第3戦（28日・愛知）
プラザー工業（愛知）12（7―4、5―5）9 VfL・マンハイム

▽同第4戦（30日・浜松）
全日本 15（8―6、7―3）9 VfL・マンハイム

【マンハイム(身長)】		得		得	【全日本】
グニーダ・168cm		0	GK	0	山本（プラザー工業）
ヴォーラ・170		0	GK	0	丸山（立石電機）
トラウトマン・170		1	FP	3	松下（ジャスコ）
ジッポス・164		0	FP	0	斉藤（日本ビクター）
シュミット・170		0	FP	1	藤井（日体大OG）
A・ヴェルツ・164		4	FP	0	小島（日本ビクター）
M・ユンガー・169		2	FP	2	清水（東北ムネカタ）
H・ユンガー・170		1	FP	2	横山（東京重機）
ライヘルト・172		1	FP	2	楠石（プラザー工業）
ツーエンバウァー・159		0	FP	1	木戸（北国録行）
マーツ・172		0	FP	0	千歩（北国録行）
パッハマン・166		0	FP	4	河田（ジャスコ）
PT	(3)	9		15	(2)

（審・鈴木・久保田）

（全日本この他の出場者）GK鈴木（日本ビクター）、FP紀野（立石電機）＝得0

11年ぶりの国際試合

○……全日本女子が、有料の国際試合を行うのは、四十二年九月の対西ドイツ選抜戦（東京）に遡のぼる。

三年前、世界選手権アジア予選のイスラエル戦2試合を、治安上の理由で、観客なしの「ドアー・クローズド・ゲーム」（東京）で行っているからだ。

その久しぶりの試合に、コーチ陣は、主力を極力休ませ、若手中心の編成でのぞんだ。

モントリオール代表12人のうち島田（立石）、古佐原（重機）ら6人が退き、残った6人と補強した若手組との実力差が大きくあいてしまい、この穴をどう埋めるかが、急務だからだ。

○……それでも、全日本の面目もあり、若手オンリーで対戦するのは危いとみたが、松下、河田（ともにジャスコ）、紀野（立石）らを適当に送りこんで、柱をつくる戦法を採った。

50年をこす歴史をもつ西ドイツきっての名門マンハイムは、往年のスター・ベルツを軸に、テクニシャンを揃えていたが失礼ながら各選手とも年をとりすぎていた。

せっかくいい型になっても、シュートに力強さがなく、全日本は16分7―1とあっさり主導権を握った。

○……「波にのるとよいが、一つつまづくと、どうにもならない」（藤原コーチ）という若手への不安が出たのは、このあとだ。

点差からみても、余裕をのぞかせて、よいはずが、なにをあせるのか、攻守とも、まったくチグハグになってしまい、前半は、このあと追加点なし。

後半、河田の活躍で8分10―4として、今度こそ一気に、若さが爆発かと思わせたが、またもや、射ち急ぎや、速攻の失敗があって得点が止まり、逆に二本のPTとサイド攻撃を受けて15分8―10と迫られてしまった。

○……試合後、ハースト・コーチは「あそこまで精いっぱい」とけんそんしたが、16分45秒、ベルツがノーマークをはずしていなかったら、全日本は、主力温存などとのん気に構えてはいられなかったろう。

17分河田のシュートで、なんとかリズムをとり戻した全日本は、相手の疲れにも乗じて、21分13―8とし、どうにかメドをつけたが「新人の戦力を分析しなおす」（横地女子強化部長）という、苦い課題をかかえこむ〝新生〟のスタートだった。

（杉山）

〃〃〃〃〃〃〃 親日家のアニタ・ベルツ 〃〃〃〃〃〃〃

○……来日両クラブのうち、一枚格がちがっていたのは、第2回世界女子選手権（7人制）で、西ドイツの要として知られたアニタ・ベルツ選手だ。

35才という年令を感じさせぬ動きは、日本勢も再三パスコースを読まれ、逆襲をうけた。

ベルツ選手は「日本遠征は夢の実現」というように、大の親日家

世界選手権とその前哨戦で手合せした日本の女子選手とすっかり仲良しになり、「日本人の優しさがすっかり気にいった」からだ。

日本に来てみて「こんなすばらしい国民は、世界にいない」とまたまた心をとらえたようで、同行した長女のペトラさん（14才）も「すばらしい国」とママ以上に喜んでいた。

【ヘッペンハイム来日選手】

GK	ハルトマン	170cm
	ギーブル	173
FP	W・ツェーンバウアー	180
	ホエール	177
	リース	174
	グリーザ	186
	ヴェルン	186
	デパラーデ	192
	シャッハナーツ	172
	クルツ	176
	P・ツェーンバウアー	190
	ハインツェ	185

欧米ハンドボール事情

杉山　茂（NHK運動部）

盛んになったイギリス

昨秋から今春までの約三カ月、欧米のスポーツ事情に触れる機会があった。

ヨーロッパは、ちょうどハンドボールシーズンの真っただなか。女子の初の世界選手権Bグループが西ドイツで開かれていたし、男子は、モスクワへつながる世界選手権間近かという時期で、うらやましいような活況を呈していた。

そのなかで、特に印象に残ったのは、六年前訪れた時、ほとんど普及されていなかったイギリスのハンドボールが、大きな芽をふき出していたことだった。

イギリス政府のきも入りで、各地に建設されているスポーツセンターのホールには、必ずハンドボールのゴールポストが置かれ、青少年だけではなく、女子のスポーツとして、かなり盛んになってきている。

もともと、この国には、ハンドボールに似た「ネットボール」という女子球技があり、その愛好者がかなり、国際性のあるハンドボールに目を付けはじめた、とも聞いた。

IHF(国際ハンドボール連盟)に届出られているイギリスの競技人口は、男子40、女子12チーム（いずれも成人）と、今はまだ心細いが、あるスポーツセンターの指導者は「市民スポーツ、競技スポーツ両面で発展性がある」と今後の伸びを期待させる話を聞かせてくれた。

スコットランドや、ウエールズでも、ハンドボールの種は、順調に育っているようで、ヨーロッパで、ハンドボールを実施していないのは、ギリシャとトルコぐらい。

そのトルコも、近々全国リーグを発足させるとかで、IHFにも早ければ今秋、加盟できそうだ、という。

キューバは東欧勢と交流

カリブ海に浮かぶ革命の島、キューバにおける普及ぶりも、かなりのものがある。

国家が、ソ連や東ドイツと深いつながりがあり、スポーツ界も当然、この両スポーツ大国との交流が盛んだ。

あらゆるスポーツで、やがてはキューバ旋風が吹くだろう、とみる専門家は多い。

ハンドボールも、男子のジュニアナショナルが、すでに二、三度東欧を中心としたヨーロッパ遠征を実現させているようだし、いわゆるハンドボール新興国の中ではもっとも高い実力を秘めているのではなかろうか。

学校体育の正課に採り入れられ指導者の育成にも力が入っている。

首都ハバナから車で4時間ほどのパイナル・デ・リオにある体育専門学校の午前中の授業は、各学年ともほとんどハンドボールだ。

この町では、昨年、国際トーナメント(男子)が開かれ、ソ連、東ドイツ、チェコ、ポーランド、ルーマニア、ハンガリー、ブルガリアからトップクラスのクラブチームが参加、チェスカ・モスクワ（ソ連）が、デュクラ・プラハ（チェコ）を18―14で破り優勝している。

一流チームの激突を、まぢかに見ていれば、レベルアップにも、ずい分プラスする。

すでに、キューバは、IHFに正式加盟しており、いつ国際舞台へ登場するか注目されるのだが、所属ゾーンが「アメリカ大陸」では、アメリカとの冷めたい関係が解消されない限り、難しいと思う。

キューバでは、女子ハンドボールは、まだ行われていないと聞いていたが、同国のスポーツ誌には女子の試合や練習ぶりが伝えられている。

オリンピックの女子種目には、当分「三大陸（アジア、アメリカ、アフリカ）」という枠が設けられるだろうから、そうなると、日本もキューバを意識しなければならない時が来よう。

アメリカ大陸で、先乗のアメリカやカナダを、キューバが追い抜くのは、簡単な気がするからだ。

サッカーと並ぶ花形スポーツ

新しい芽と対照的に、伝統を誇る東西ドイツのハンドボール界はますます、どっしりして来ている。

マスコミも、サッカーと並ぶ花形の扱いで、ファンの関心をあおっている。

東ベルリンにいた時、たまたま国際試合があると聞いて、見たいのだがといったら、どの試合かと聞いなおされた。

しばらく、意味が判らなかったが、なんとこの日、東ベルリン周辺だけで男子2、女子1の国際トーナメントが行われていたのである。

いずれも、地元勢に、ソ連、ルーマニア、オーストリアなどから

ゲストチームが招かれてのもので規模は、千～二千人収容程度ながら、サイドラインぎりぎりまで観客席がつくられ、どこも満員だ。

東ドイツでは、男女を問わず、少年時代に必らずいちどは、ハンドボールに取り組むといわれる。

それだからこそ、メキシコオリンピックで競泳の400メートルリレーのメンバーとして銀メダルをとったR・クラウゼ（TSC・ベルリン）が、そのあと、ハンドボールの女子ナショナルに加わり、世界選手権優勝に一役買うこともできるのだ。

女子のスプリンターとして、初へて100メートル11秒の壁を破り、10秒の大世界記録をもつR・シュテヒャーが、モントリオールオリンピックのあと、ハンドボールに転向したと伝えられていたので、ぜひ、その試合ぶりをと思ったがその消息をはっきりつかむことはできなかった。

女子Bグループ上位は東欧勢

西ドイツでは、世界女子のBグループが開かれていた（注・昨年12月）

ご承知のように、女子のグループ制は、今回から布かれたものでBグループには、ヨーロッパ地域の14カ国が出場。

ユーゴが、決勝でポーランドを延長の末破り優勝。以下ルーマニア、西ドイツ、オランダと5位までがAグループ（今秋12月・チェコ）への進出を決めた。

ユーゴ、ルーマニアは、日本が有力視されるアジア大陸代表と予選リーグA組で顔を合わせる。

この二カ国に東ドイツ（前回優勝国）という顔ぶれは、日本も楽ではない。

男子よりも、日本――東欧の差はないといわれ、たしかに、肯定できる面もあるが、女子の場合は男子以上に、東欧諸国間の連けいが強く、大きなトーナメントは、ほとんど東欧勢だけで組まれるから、本番までに、どれほど力を貯えるか予想はできず、Bグループでの印象を、そのままAグループにもちこむのは危険である。

イスラエル女子の登場

ところで、この大会にはイスラエルが出ていた。

前回の世界選手権へのアジア代表権をかけ、東京で日本との試合を、観客を一人もいれぬ「隠密試合」で強行したのは、もう四年前の話になる。

そのあと、イスラエルは、ヨーロッパ地域に移ったのだ。

今回は、ポーランド、デンマーク、イギリスと同組で、イギリスから1勝をあげたに留ったが、ポーランド戦には五百人、デンマーク戦には、六百五十人、イギリス戦には千人をこすファンが集まった。

この数字を間いた時、「隠密試合」をお手伝いした筆者は、なにかホッとした感じになった。

あの時のメンバーで、今回残っていたのはグロスとGKスタイガーぐらいのもの。

イスラエルをめぐる複雑な影は相変らずで、ハンドボール界でも昨年の第1回世界ジュニア男子選手権で、チュニジアが、イスラエル戦を前に帰国してしまい、IHFは、チュニジアに、1年間の資格停止処分を課す騒ぎが起きている。

一試合の日当五千円

面白い話があった。世界選手権に備えて、DHB（西ドイツハンドボール連盟）が、昨年暮れ企画したポーランド戦（ミュンヘンなどで2試合）を、二選手がボイコットしようとしたのである。

表面上の理由は「大学の試験に備えて」だったが、真相は、この試合の日当が10マルク（約千二百円）と安かったからだ、という。

DHBは、年末に会議を開き、今後は、どのような場合でも、最低50マルク（約六千円）にすることを決め、選手たちをなだめた。

事情通に聞くと、一流クラブ間の試合の日当は、ナショナルよりも高いそうだ。

ちなみに、西ドイツを世界一に導いたユーゴ人・ステンツェル監督の月給は、邦貨にして40万円といわれる。

グローバルなスポーツへ成長

アメリカのハンドボール（この国では、チームハンドボールといわぬと通じぬが――）も、ひところに比べれば、だいぶ盛んになっている。

特に、大学、高校では、体育の授業で積極的に行われるようになり、USTHF（アメリカチームハンドボール連盟）が、力を入れていた軍隊でも、順調に伸びている。といわれる。

ただ、指導者が不足していることと、西側、つまり太平洋岸地域への普及が、まったく遅れている感じを強くうけた。

一九八四年の夏のオリンピックは、ロスアンゼルス市が〝当確〟と伝えられるだけに、この遅れは気になる。

かけ足での見て歩き。だが、それでも、ハンドボールが、グローバルなスポーツへと、たしかな足どりで歩みをつづけていることがはっきりと判った。

本場ヨーロッパはますます拡充されているし、その他の地域、国々も上昇機運だ。この流れと歩みの速さに、日本が取り残されてはならないだろう。

（終）

フリースロー ＜編集委員会論壇＞

ママさんハンドボールと日本のハンドボール発展

　昨年十二月某新聞社の紙上市民版にて、名古屋市と岐阜県羽島市対抗の「ママさんハンドボール」チームによる親善試合が行なわれ、出場したママさんは子供さんたちやパパの声援を受けながらの熱戦という、誠にほほえましく、また我々ハンドボール関係者としましても、大変嬉しい出来事が伝えられていました。

　バレーボールをはじめとし、最近ではソフトボールやサッカー、はたまたラグビーなどといったように、次第に〝ママさん〟たちの間では（むしろパパさんたちよりも）スポーツに対する意識の向上が見受けられるたのもしい今日であり、子供たちから見た「ママゴン」脱皮を図る一手段として……では決っしてないでしょうけれど……、兎に角、スポーツを愛好する私（私達）にとりましても本当に嬉しいことです。

　最近特に、ハンドボール競技発展の一手段として、中学生等を対照とする底辺の拡充が重視されておりますが、それと同時に（これは余談になって本当に申し訳ありませんが）ママさんハンドボールという一つの媒体を軸にして、更に低年令層（つまり子供さん達）に対し、ハンドボール競技そのものの面白さ、楽しさ、痛快さを教えて行ったならば、近い将来野球やバレーやサッカーに決っして負けないくらいに、ハンドボールもポピュラーなスポーツとして発展して行くのではないでしょうか。

　事実私の会社のハンドボール部OG連が、子供さんを引き連れて隔週日に京体育館で練習されておりますが、今は訳の分からない子供さん達も、これから先にはきっと、お母さんから学んだハンドボールというものに興味を持ち出しそして、その中から将来の名選手が生まれるやも知れません。

マイナースポーツからの脱皮!!

──ハンドボールはいかにすれば、ゴール（ゴールネット）という施設が無くとも、ボール一つあれば誰もが充分楽しめる娯楽になるであろうか──

　このことも底辺の拡充を考えるならば、大事な一つの問題点であると私は考えます。玄人的マイナースポーツから脱皮する為には、このような甚だ馬鹿々しい事も考えて損にはならないと思うのですが……。

　話しをママさんハンドボールに戻すことにしましょう。

　現在私の知る限りでは（これは認識不足であるかも知れませんが）、中部、東海、そして関東東京の三地区でママさんチームが結成されておりますが、東京は別として前述の対抗戦を行なったチームは、その地域のハンドボール教室の生徒さんということであり、こういったスポーツ教室が全国的にハンドボールというものに注目し、ママさんチーム結成に御尽力頂けたらば、各地方大会はもとより全国規模のママさんハンドボール大会も夢でなくなるかも知れません（これには色々な障害があり先ず現実化は不可能に近いのですが）。少なくとも各地区での大会を発展させる方向に持って行きたいものです。

　何はともかく、普段は完全に傍観的な立場に居た人たちが、ハンドボールというものを試しに行ない。そしてその楽しさ、面白さを子に伝え、更に子から孫へ（ちょっとオーバーですが）と、ママさんに限ったことでなく、勿論パパさんにも大いにやって頂いて結構なことなのですが、水泳が、野球がそうであったように、ハンドボールも早くそうなって欲しいものです。

TV放映が最大のポイント

　しかしやはりハンドボールが人気薄なことは、何んと言ってもほとんどテレビ放映されないということが最も大きな要因の一つでもあるでしょう。

　そのことについては後日述べることにしまして、今の日本のトッププレーヤーたる人たちへの希望ですが、もう少しスター意識を持ってプレーをして頂きたい……明日のテレビ放映の為にも……。

（小松原）

　このコーナーは、編集委員会としてだけのものでなく、皆様方のハンドボールに対するご意見の発表の場としても活用して行きたいと思いますので、ご希望の方は委員会までお寄せ下さい。

ジャスコ、ブラザーを破る

昨秋から今春にかけて、各地域トップチームによるブロック選手権が相次いで開かれた。

日本リーグ勢を集めた東海室内では、女子でジャスコ（三重）が、久々にブラザー工業（愛知）を破った。これで今シーズンつきまとった苦手意識がふっ切れるかどうか。

東北総合では、地元の湯沢ク（秋田）が強豪を連破して初優勝、女子は、日本リーグ復帰の東北ムネカタ（福島）の順当勝ち。

北海道総合は、有斗勢の同士討ちから有斗OBに初の栄冠を飾った。

男子は大同特殊鋼勝つ

▼第17回東海室内選手権（2月・愛知県体育館）

▽男子1回戦（＝準決勝）

大同特殊鋼（愛知）34（19－7、15－3）10 岐阜教員（岐阜）

本田技研鈴鹿（三重）29（18－4、11－5）9 浜南ク（静岡）

▽同決勝

大同特殊鋼 17（9－7、8－7）14 本田技研鈴鹿

▽女子1回戦（＝準決勝）

ジャスコ（三重）18（7－0、11－0）0 静岡城北ク（静岡）

▽同決勝

ブラザー工業（愛知）20（10－0、10－2）2 笠松ク（岐阜）

ジャスコ 8（4－3、4－3）6 ブラザー工業

（大同特殊鋼は4連勝7度目、ジャスコは3連勝3度目）

湯沢ク、秋田に初の栄冠

▼第14回東北総合室内選手権（1月・秋田県立体育館）

▽男子1回戦

湯沢高（秋田）11（6－2、5－4）6 大石田高（山形）

SGク（福島）24（13－10、11－6）16 七戸ユニオン（青森）

湯沢ク（秋田）30（16－7、14－12）19 花巻北高（岩手）

東北学院大OB（宮城）25（14－3、11－5）8 学法石川（福島）

▽同準々決勝

東北学院大 14（3－3、11－3）6 湯沢高

SGク 19（10－6、9－8）14 岩手教員（岩手）

湯沢ク 35（18－6、17－5）11 新庄ク（山形）

青森ク（青森）12（6－6、6－5）11 東北学院大OB

▽同準決勝

SGク 17（8－8、9－3）11 東北学院大

湯沢ク 23（11－4、12－11）15 青森ク

▽同決勝

湯沢ク 22（11－2、11－8）10 SGク

▼女子1回戦（2試合）

全岩手 12（7－1、5－1）2 二華会（宮城）

郡山女高（福島）11（5－0、6－5）5 米沢女高（山形）

▽同準々決勝

東北ムネカタ（福島）12（8－3、4－3）6 あすなろ（青森）

秋田和洋女高（秋田）10（5－3、5－3）6 全岩手

大曲農高（秋田）7（2－1、5－2）3 仙女商翠会（宮城）

郡山女高 12（7－0、5－1）1 花巻北高（岩手）

▽同準決勝

東北ムネカタ 14（8－1、6－9）10 秋田和洋女高

大曲農高 5（2－2、3－2）4 郡山女高

▽同決勝

東北ムネカタ 10（7－2、3－2）4 大曲農高

（湯沢クは初優勝、秋田代表の優勝も初。東北ムネカタは6連勝7度目）

男女とも函館勢

▼第17回全北海道室内選手権（52年12月・函館市民体育館）

▽男子1回戦

エルム・ク 14－6 大谷愛好会

朔球ク 20－18 釧路教大

志峰ク 15－11 札幌アルタイル

有斗OB 26－10 道口体大ク

大谷ク 19（延）15 北大

有斗高ク 20－18 北見工大

▽同準々決勝

有斗ク 19（10－4、9－4）8 エルウク

志峰ク 16（6－4、10－3）7 朔球ク

有斗OB 22（10－7、12－4）11 大谷ク

有斗高ク 28（14－6、14－8）14 千蔵ク

▽同準決勝

有斗ク 21（7－6、14－5）11 志峰ク

有斗OB 26（13－8、13－10）18 有斗高ク

▽同決勝

有斗OB 26（12－12、10－10、2－2、2－1）25 有斗ク

▼女子1回戦（＝準決勝）

登別OGク 15（8－1、7－7）8 釧路教大

函館女商OGク 17（7－1、10－2）3 旭川教大

▽同決勝

函館女商OGク 13（5－2、8－8）10 登別OGク

（有斗OBは初優勝。函館女商OGクも初優勝）

東海実業団は新日鉄

▼第13回東海実業団男子選手権

▽第1次リーグ（52年10～12月・各地）

トヨタ車体（愛知）19（10－11、9－8）19 二和家具（岐阜）

新日鉄名古屋（愛知）18（12－4、6－10）14 大同高蔵（愛知）

トヨタ車体 30（15－11 15－6）17 日本碍子（愛知）
新日鉄名古屋 棄権 二和家具
大同高蔵 28（14－10 14－5）15 二和家具
新日鉄名古屋 30（17－8 13－8）16 日本碍子
大同高蔵 32（18－6 14－6）12 日本碍子
新日鉄名古屋 16（7－8 9－8）16 トヨタ車体
引き分け
二和家具 36（20－16 16－12）28 日本碍子
トヨタ車体 18（9－9 9－6）15 大同高蔵

【第1次リーグ順位】①新日鉄名古屋3勝1分＝初優勝②トヨタ車体2勝2分③大同特殊鋼高蔵2勝2敗④二和家具1勝3敗⑤日本碍子4敗

▽選手権決勝
本田技研鈴鹿（三重）21（10－8 11－6）14 新日鉄名古屋（リーグ①）

（注）女子は52年5月に行われておりブラザー工業（愛知）が優勝。

各地の記録

鹿大、熊大らおさえる

▼南九州学生選手権
▽予選リーグA組
鹿児島大 24－11 九州東海大
鹿児島大 24－12 熊本商大
熊本商大 28－7 九州東海大
▽同B組
長崎大 16－9 大分大
熊本大 17（分）17 大分大
熊本大 21－15 長崎大
▽同C組
宮崎大 28－13 長崎造船
宮崎大 20－10 熊本工大
熊本工大 16－15 長崎造船
▽7～9位決定リーグ
大分大 20－8 九州東海大
大分大 23－9 長崎造船
長崎造船 10－9 九州東海大
▽4～6位決定リーグ
長崎大 25－22 熊本商大
長崎大 16－10 熊本工大
熊本商大 26－11 熊本工大
▽決勝リーグ
鹿児島大 19（9－7 10－8）15 熊本大
宮崎大 16（10－5 6－5）10 熊本大
鹿児島大 19（10－5 9－4）9 宮崎大

【最終順位】①鹿児島大②宮崎大③熊本大④長崎大⑤熊本商大⑥熊本工大⑦大分大⑧長崎造船⑨九州東海大

大同特殊鋼、貫禄示す

▼第8回昭和52年度愛知リーグ
大同特殊鋼 30－11 名城大
トヨタ車体 29－5 大同ク
愛知教員 14－10 中京大
大同ク 16－14 中京大
名城大 13－10 愛知教員
大同特殊鋼 27－6 トヨタ車体
大同特殊鋼 24－10 愛知教員
中京大 18－15 トヨタ車体
名城大 23－12 大同ク
名城大 11－7 中京大
大同特殊鋼 34－10 大同ク
愛知教員 16－13 トヨタ車体
トヨタ車体 15－14 名城大
愛知教員 19－15 大同ク
大同特殊鋼 30－8 中京大

【順位】①大同特殊鋼5戦全勝＝8連勝②名城大・愛知教員3勝2敗④トヨタ車体2勝3敗⑤中京大・大同ク1勝4敗

住化菊本、丸善に辛勝

▼愛媛県社会人リーグ後期
住化菊本 23－12 松山商大
丸善石油松山 34－14 愛媛大
松山ク 20－17 新居浜ク
住化菊本 28－11 愛媛大
丸善石油松山 25－15 松山ク
新居浜ク 22－21 松山商大
住化菊本 15－14 松山ク
丸善石油松山 30－15 松山商大
新居浜ク 23－20 愛媛大
住化菊本 棄権 新居浜ク
松山ク 24－14 愛媛大
松山商大 17－13 愛媛大
丸善石油松山 33－14 新居浜ク
松山ク 28－19 松山商大
住化菊本 18－17 丸善石油松山

【順位】①住友化学菊本9勝1分（うち前期4勝1分）＝3連勝②丸善石油松山8勝1分1敗（4勝1分）③松山ク6勝4敗（3勝2敗）④松山商大・新居浜ク3勝7敗⑥愛媛大10敗

栃木教員、BSタイヤかわす

▼栃木県総合選手権
▽男子準々決勝
栃木教員 28－18 白治医大B
国学院栃木高 21－13 馬頭高
自治医大 13－10 全栃木農高
ブリヂストン 14－13 AOK栃木
▽同準決勝
栃木教員 13－11 国学院栃木高
ブリヂストン 28－12 白治医大
▽同決勝
栃木教員 21（11－3 10－8）11 ブリヂストン
▽女子準決勝
馬頭高 12－10 作新学院高
国学院栃木高 13－8 藤岡高
▽同決勝
国学院栃木高 13（9－4 4－3）7 馬頭高

岩手も教員が制勝

▼岩手県総合室内選手権
▽男子準々決勝
岩手教員ク 27－17 白亜ク
岩手大 17－15 盛岡一高
花巻ク 13－8 盛岡商高
花巻北高 19－14 盛岡商友会
▽同準決勝
岩手教員 19－13 岩手大
花巻北高 18（分）18 花巻ク
PTCで花巻北高の勝ち
▽同決勝
岩手教員 20（10－8 10－5）13 花巻北高

▽女子準々決勝
全岩手 15―0 盛岡二高
岩手大 8―5 釜石商高
三英芙会 6―2 水沢高
花巻北高 5―2 平館高
▽同準決勝
全岩手 8―0 岩手大
花巻北高 5―1 三英芙会
▽同決勝
全岩手 13（4―1、9―1）2 花巻北高

女子は和洋高元気勝ち

▼秋田県総合選手権
▽男子準々決勝
大農ク 19―15 大曲同志会B
湯沢高 18―10 大農高OB
湯沢ク 29―11 秋南ク
大曲農高 22―13 秋田南高
▽同準決勝
湯沢高 13―11 大農ク
湯沢ク 22―15 大曲農高
▽同決勝
湯沢ク 19（13―12、6―6）18 湯沢高
▽女子1回戦（3試合）
大曲高 9―7 六郷高
全和洋 11―0 和洋女高B
大曲農高 11―0 大曲東高
▽同準決勝
秋田和洋高 16―2 大曲高
大曲農高 15―7 全和洋
▽同決勝
和洋高 15（5―3、10―4）7 大曲農高

群馬は短大付OG快勝

▼群馬県総合選手権
▽男子準々決勝
吉井高 25―18 富岡ク
藤高OB 35―19 桐生ク
富高OB 16―15 前橋工ク
群馬教員 25―23 前橋ク
▽同準決勝
吉井高 23―14 藤高OB
富高OB 18―15 群馬教員
▽同決勝
富岡高OB 23（10―5、13―11）16 吉井高
▽女子準々決勝
前橋ピジョンズ 15―7 吉井高
群女短大付高 7―6 前橋市女高
下仁田高OG 12―5 前橋商OG
群女短大付高OG 23―5 下仁田高
▽同準決勝
群女短大付高 10―5 下仁田高OG
群女短大付高OG 10―9 前橋ピジョンズ
▽同決勝
群女短大付高OG 11（6―3、5―6）9 群女短大付高

城北ク、浜南クおさえる

▼静岡県総合選手権
▽男子準々決勝
静岡教員団 27―10 三信ク
気賀ク 13―7 御殿場高
富士ク 15―11 清商ク
浜南ク 13（分）13 静農ク
PTCで浜南クの勝ち
▽同準決勝
浜南ク 23―10 富士ク
静岡教員団 24―14 気賀ク
▽同決勝
静岡教員団 24―22 浜南ク
▽女子決勝
城北ク 7（3―2、4―2）4 浜南ク

Aグループは大阪教員ク

▼大阪室内選手権
▽男子Aグループ準々決勝
大阪ガス 17―16 住友銀行
雪陵ク 22―12 初芝ク
大阪教員ク 16―8 大山商会
都島工ク 15―12 日鉄建柱
▽準決勝
雪陵ク 20―14 大阪ガス
大阪教員ク 25―15 都島工ク
▽決勝
大阪教員ク 33（17―13、16―4）17 雪陵ク
▽男子Bグループ準決勝
桃蔭ク 19―18 六陵ク
福島ク 16―14 佐野工教員
▽同決勝
桃蔭ク 17―15 福島ク
▽女子準々決勝
シーガルズ 9―8 寝屋川ク
大和銀行B 11―9 住学クB
住学ク 9―7 城南ク
大和銀行 17―1 大阪教大
▽同準決勝
シーガルス 10―7 大和銀行B

韓国社会人が4勝1敗

第6回日韓男子社会人交流大会は、昨秋11月8日から13日まで韓国社会人選抜（金顕九団長ら役員4、選手14＝本誌138号参照）が来日して、日本リーグ1位の湧永薬品（広島）などと5試合を行った。
日本側は、湧永薬品が、貫禄をみせて快勝したものの、他の4戦は、即成のピックアップチームが多かったことなどから、韓国社会人の気力におされ敗退、韓国社会人は4勝1敗の好成績をおさめた。
通算成績は、日本側の30戦18勝1分11敗とかわった。

▽第1戦（11月8日・徳山）
韓国社会人選抜 28（14―10、14―1）11 山口県周南実業団選抜
▽第2戦（11月9日・広島県三次湧永薬品球技場）
湧永薬品 35（20―10、15―8）18 韓国社会人選抜
▽第3戦（11月10日・大阪東淀川体育館）
韓国社会人選抜 27（19―7、8―9）16 近畿実業団選抜
▽第4戦（11月12日・名古屋）
韓国社会人選抜 25（11―11、14―9）20 愛知実連ジュニアスターズ
▽第5戦＝最終戦（11月13日・水戸）
韓国社会人選抜 26（14―11、12―2）13 自衛隊勝田

大和銀行 11―5 住学ク
▽同決勝
大和銀行 12（5―4 7―3）7 シーガルス

男女とも日川クに栄冠

▼山梨県総合選手権
▽男子準々決勝
日川ク 32―14 都留文化大
日川高 21―14 山梨教員
大月スワロー 11（延）10 全塩山商
塩山ク 35―13 全大月高
▽同準決勝
日川ク 17―12 大月スワロー
塩山ク 21―16 日川高
▽同決勝
日川ク 18（9―8 9―7）15 塩山ク
▽女子1回戦（1試合）
全吉田高 10（延）9 都留文化大
▽同準決勝
日川ク 17―12 大月スワロー
山梨高 7―3 日川高
▽同決勝
日川ク 14（7―1 7―2）3 山梨高

県岐阜商高、健斗及ばず

▼岐阜県室内選手権
▽男子準々決勝
岐阜教員 22―17 岐阜西ク
岐南OB 21―16 大垣南高
県岐商高 26―14 市岐商ク
二和家具 28―20 伊吹ク
▽同準決勝
岐阜教員 20―15 岐南OB
県岐商高 20（延）14 二和家具
▽同決勝
岐阜教員 22（9―4 13―9）13 県岐商高
▽女子準々決勝
笠松ク 7―4 富田女高
伊吹ク 9―3 益田高
県岐商高 5―4 大垣農高
中津高 6―5 岐阜北高
▽同準決勝
笠松ク 7―4 伊吹ク
県岐商高 18―3 中津高
▽同決勝
笠松ク 6（3―3 3―1）4 県岐商高

新潟も教員が気勢

▼新潟日報杯争奪トーナメント
▽準々決勝（男子のみ）
新潟教員 20―17 悠久ク
中越高OB 23―14 柏崎工高
巻高 12―8 柏崎ク
柏崎工高B 22―8 長岡高専
▽同準決勝
新潟教員 14―10 中越高OB
柏崎工高B 21―7 巻高
▽同決勝
新潟教員 19（12―10 7―7）17 柏崎工B

▼兵庫県総合室内選手権
▽男子準々決勝
モンシエル・ク 16―13 神戸大
神戸製鋼 28―16 友幸ク
川崎重工 29―17 県高校選抜
スワロー兵庫 25―15 西宮北高
▽同準決勝
川崎重工 25―11 モンシエル・ク
スワロー兵庫 21―17 神戸製鋼
▽同決勝
スワロー兵庫 29（11―12 18―11）23 川崎重工
▽女子決勝リーグ
県高校選抜 8―4 鈴蘭台高
武庫川女大 18―1 県高校選抜
武庫川女大 11―0 鈴蘭台高
【順位】①武庫川女大②県高校選抜③鈴蘭台高

▼滋賀県室内総合選手権
▽男子準々決勝
八幡工OB 17―8 米原高
高島高 16―13 彦根ク
米原高OB 12―10 能登川ク
高島ク 22―8 彦根東高
▽同準決勝
八幡工OB 28―11 高島高
高島ク 13―8 米原高OB
▽同3位決定戦
米原高OB 15―14 高島高
▽同決勝
八幡工高OB 14（7―7 7―6）13 高島ク
▽女子1回戦（3試合）
大津ク 12―7 彦根ク
彦根西中 11―3 高島高
大津商高 3（分）3 守山高OG
▽同準決勝
守山女高 19―3 大津ク
大津商高 9―6 彦根西中
▽同決勝
大津商高 6（3―3 3―2）5 守山女高

氷見ク、八尾ク突き放す

▼富山県室内男子選手権
▽準々決勝
氷見ク 24―6 想球会
氷見クB 17―10 高岡商ク
八尾ク 12―6 富山大
富山教員 22―14 H・HC
▽準決勝
氷見ク 15―13 氷見クB
八尾ク 20―15 富山教員
▽決勝
氷見ク 19（9―7 10―6）13 八尾ク

浦添、アベック優勝飾る

▼沖縄県高校選手権
▽男子決々勝
浦添 17―8 糸満
前原 16―13 那覇工
興南 36―17 コザ
首里 16―15 豊見城
▽同準決勝
浦添 12―9 前原
興南 17―16 首里
▽同決勝
浦添 19（8―6 11―6）12 興南
▽女子準々決勝
浦添商 19―2 コザ
浦添 13―2 首里
興南 11―6 豊見城
前原 13―4 知念
▽同準決勝
興南 7―5 浦添商
浦添 5―3 前原
▽同決勝
浦添 6（3―2 3―1）3 興南

高知でピックアップ対抗

▼高知県オールスターズカップ
▽男子1回戦（＝準決勝）
県教員選抜 22―9 県高校選抜
県一般選抜 4―6 県大学選抜
▽同決勝
県教員選抜 17（7―3 10―7）10 県一般選抜
▽女子決勝
県一般選抜 6（3―0 3―1）1 県高校選抜

★編集後記★

○新学期が始まりましたが皆さんは春休みをどう過されていましたか……。

　きっとハンドボールの練習に励んでおられたことと御推察致します。

　初の高校選抜大会に出場された皆さんは、きっと有意義な春休みを過ごされたことでしょう。しかし、先の名古屋での実業団大会に皆様方のお顔が少なかったのが、ちょっと寂しいような感じがしました。――それでは新学年度頑張って下さい。――

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六二号
昭和四十年六月
第三種郵便物認可
昭和五三年三月二十五日印刷
昭和五三年四月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
京都渋谷区神南一ー一ー一
電話代表（467）七〇九七
振替東京五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）